



2005年度 部報

# 力漕

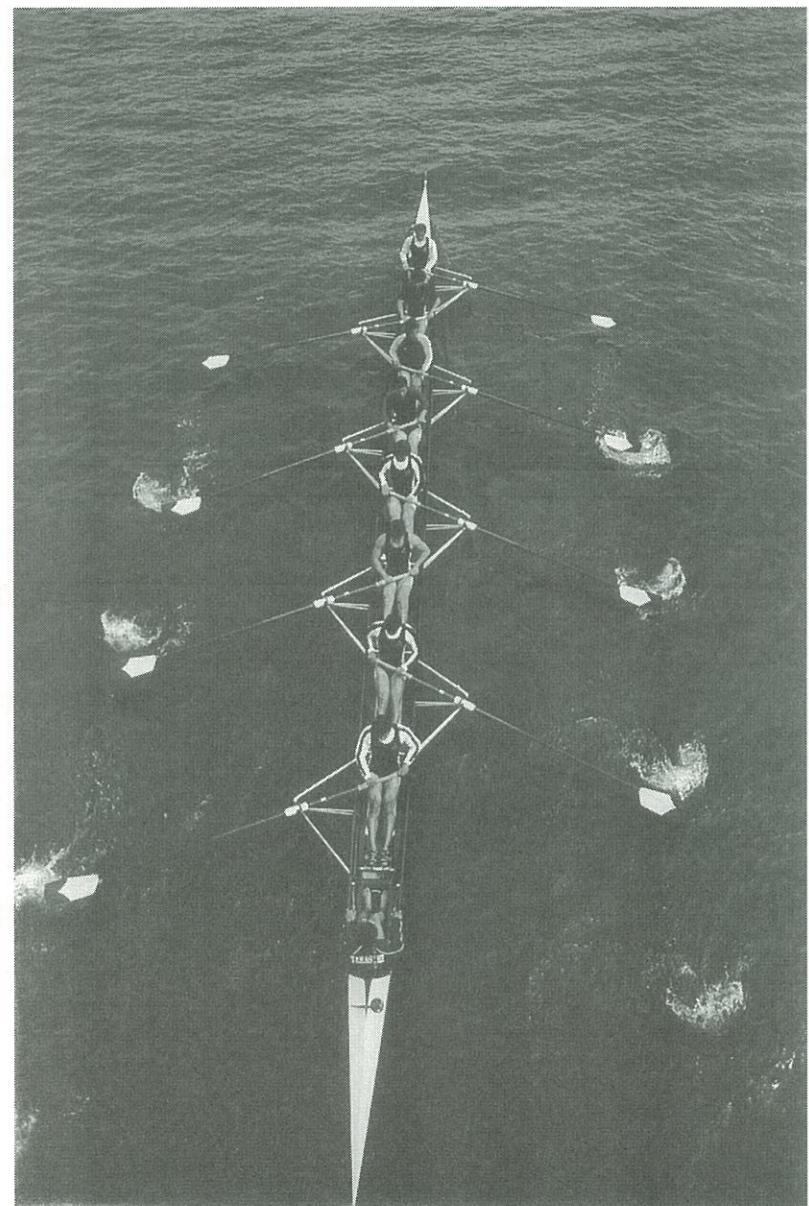
Vol. 13

**WILD ROVER CREW**

同志社大学体育会ボート部

力浦

VOL.13



2005

## 目 次

「力漕」刊行によせて .....	1
決意表明 .....	4
年間スケジュール .....	19
2005年度戦績 .....	21
2005年度現役会計報告 .....	49
O B特集 .....	50
他大学寄稿 .....	56
卒業生の言葉 .....	61
広告 .....	65
編集後記 .....	72

## 「力漕」刊行によせて

---

同志社大学体育会ボート部部長 岡本 博公

本年の『力漕』の内容はいかがでしょうか。ボート部員の一年の努力の結晶がにじみ出ていることを祈ります。

努力が成果に単純には結びつかないことはしばしばあって、そのことはよく承知しているものの、勝負の世界ではなかなかつらいことです。このことは部員自身が一番感じていることであり、歯がゆい思いをしていることでしょう。その歯がゆさをこらえ、日々の努力を積み重ねる部員の姿には頭が下ります。ぜひ、成果に結びつけてやりたいものと思います。

2005年3月には新艇庫の竣工式も行いました。艇友会の皆様からは常に多大なご支援もいただいています。1年1年が、飛躍への大切なステップになることを期待しています。

部長として微力ですが、今年もボート部の発展のために、力をささげる所存です。ご批判・ご叱責・ご助言などよろしくお願いします。

## 監督 目片 雅喜

艇友会の先輩の皆様、ボート部現役部員のご家族の皆様、日頃は同志社大学ボート部の活動にご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。昨シーズンの反省と現在の活動状況及び2006年シーズンに向けての抱負を述べさせていただき、今回の「力漕」での挨拶に代えさせていただきます。

まず、昨シーズンの反省は第一に「拘りの不足」であったと考えます。レースで勝つためには、日々の練習で肉体と精神を成長させるしかないのですが、根底には「勝つことへの拘り、自分自身を追い込むまでの練習に対する拘り」が必要です。自分の限界を勝手に決め付け、低い目標に甘んじているようではレースの結果は当初の目標以下になります。決して怠けて練習しているではありませんが、日々の練習で自分自身を極限まで追い込み、レースという目標に対して全く後悔のない練習が続いたかを考えると、まだまだ不足している部分があったと考えます。新艇庫が完成し、主将を中心に頑張ったのですが、部員全員が完全に燃え尽きる事が出来なかったシーズンだったと思います。皆様のご支援、ご期待に副えず、申し訳ございません。

現在は来るシーズンに向けて、乗艇と陸トレに頑張っている状況です。肉体的に不十分な者、精神的に弱い者、ローイングの技術に劣っている者もいますが、何かとシーズン開幕までに最大限の努力で自分の限界に挑戦し、悔いのないシーズン・インを迎えようとしています。今冬は非常に寒さが厳しいですが、寒さ以上に「レースで勝つ事」は厳しいと分かっている者の集まりですので、寒さに負けず、レースに勝つために頑張っております。日々新たに、自分自身を成長させ、強いクルーの一員になるため全員が切磋琢磨を継続できるよう頑張ってまいります。

2006年は「自分達クルーの限界に果敢に挑戦し続ける」の考えで、各レースに「勝ちへの挑戦者」として挑もうと考えております。どのレースにどの種目で出漕するかは現在考えておりませんが、今まで以上に練習、試合を通して限界に挑戦いたします。最後に、先輩、ご家族の皆様におきましてはお忙しいとは存じますが、是非部員一人一人の成長と限界への頑張りを見に、合宿所へ励ましに来ていただく事、試合観戦にコースへ来ていただく事をお願い申し上げます。

## コーチ 高橋 肇

『今日の目標は何ですか？明日の目標は何ですか？今週は？今月は？来月は？インカレは・・・』

昨年と引き続き同じことを書きますが、強くなるためには自己の目標管理が絶対に必要です。自分の目標に対して現在どういう状況なのか。どれくらい達成したのか。短期目標、長期目標様々ですが、学生は常に目標の進捗状況を確認するようしてください。そして、ひたむきに限界に挑戦し続けてください。自分自身に勝てない者が、クラブの仲間に勝つ意識のない者が、インカレで表彰台に立てるわけがありません。クラブの誰よりも練習したと自信を持って言える、トレーニングをしてもらえたたらと思います。

テクニックの部分や感覚の部分を伝えるのがコーチの仕事であり、それができなければコーチ失格だと思っています。私自身まだ伝える立場として、未熟な部分が多いので、コーチとしての自己を高める努力をしていきたいと思います。

最後になりましたが、発展途上中のボート部であり未熟なわたくしですが、OBの皆様には今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願いするとともに、熱い声援をよろしくお願い申し上げます。

# 決意表明

## 新4回生



主将 宮内 裕太  
同志社大学 商学部・商学科  
174 cm・70 kg

この3年間とても早かった。振り返ると、何もやっていない自分と、何もできない自分がいる。そして今、背中には主将という肩書きと、上座でご飯を食べ、一番艇庫の奥でストレッチを悠々とし、各代の主将が生活していた部屋で寝起きをし、偉そうにしている。こんな私が主将…？といつも自分に問いかける。答えは、返ってくるわけもなく、ただ今の自分ではなく変われ、やれる人間になれ、と思うのである。具体的な主将としての人間像、チームとして勝利するための練習内容と、その成果をどれくらい出すのかは私の頭の中にすでにあります。あとは私自身である。主将のモチベーションと成果と統率力、いや、存在そのものが同志社大学ボート部のモチベーションであり、結果である。そう思うとチーム全体を見て、引っ張るために視野を広げろ、カリスマ性を持て、常に貪欲であれという思いと、部屋のカベに書かれている各代の主将の言葉や周りからの目や声というプレッシャーが私を襲う。いや、115人の主将が通ってきた道、悩んでいる、避けている場合ではない。私が変わりさえすれば、やれる人間になりさえすれば良い結果が出ることは分かっているのだから…。

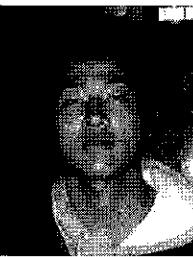
同志社大学ボート部員よ、今までダメなのは分かっているだろう！？さあどうする？どこまで考えるのか？どこまでやるのか？それで満足なのか？勝ちたくないのか？負けたままでいいのか？そんな自分を許せるのか？私は単純に負ること、負けていることが悔しい。私の頭の中にはある、勝つための方程式が。こんな私が偉そうなことを言っているが、信じて動いてほしい。いや、勝ちたいならチームが動くことは分かっている。私は同志社大学ボート部員を信じているから…さあ一緒に日本一大きな花を咲かしてやろうではないか！！

OB・OG・保護者の皆さん、こんな私ですが一年間よろしくお願ひいたします。そして、ありがたいご支援、熱意あるご声援、愛のこもったご指導をよろしくおねがいしたいと同時に、今シーズン期待してほしいと思います。



副将 高寄 崇  
同志社大学 工学部・電子工学科  
179 cm・71 kg

最上回となってから、ずっと思っている事があります。それは「後輩達にどう見られているのか。」という事です。別に見栄えや性格という事ではなく、一、ボート選手としての自分は、という事です。僕が一回生の頃に見た先輩達の様に実力もなければ実績もないからです。それなのに、艇の上では威張りちらし、合宿所では偉そうにしています。心苦しい限りです。だから今年のラストチャンス、結果を残し、記憶にも記録にも残る人へとなっていました。



主務 角谷 明彦  
同志社大学 法学部・法律学科  
175 cm・66 kg

恥ずかしいながら、自分が最上回生、主務になる時が来るなんて想像もできなかつた。様々な先輩方と接する機会を経て、いかに自分が何もわかつていなかったかということを知った。自分の立場の重みを痛感した。主務という立場で、この部、先輩方の役に立ちたい。後の世代に良きものを残したい。心からそう思う。



学連 中村 周作  
同志社大学 商学部・商学科  
172 cm・71 kg

ついに同志社ボート部での生活も最後の年を迎えた。ほんの少し前まで受験勉強をしていたような気もするし、入部してから恐ろしく長い時間が経過した気もする。ラストシーズンは学連というマネージャーの立場で迎えることとなった。今まで迷惑をかけた分少しでも役に立てるようにがんばりたいと思う。



望月 美岐

同志社女子大学 現代社会学部・社会システム学科

171 cm・60 kg

私はボートという集団スポーツの中で、いつも“孤独”と戦っている。はっきり言って、8+、4+、4×、2×、2ーなど、1×以外のCREWにいつも嫉妬していた。一時期、本当にボート部、ボート自体を好きになれないこともあった。やはり“好き=上達”だと思う。私はボートを好きになろうと頑張った。気持ち悪い話かもしれないが、私が“エンパ大好きだよ。もっと速く走れるよ。”て思うと、本当に艇がそれに答えてくれると感じる時があったりする。ある意味1年から1×で漕いでいたからこそ、艇と話ができるようになったのかもしれない。入部した時から、女漕手は私だけ。自分が納得して決めたことに後悔はしたくない。もう時間は限られている。やるしかない。全国で結果を残す。私の世代は大学生の日本代表選手が多い。まあ、この年で生まれてしまった事実は変えられないし、とにかく私は前向きにボートはガンガン後向きに進ませるぞ！！



会計 市川 亜貴

同志社女子大学 学芸学部・英語英文学科

あっと言う間に最上回生になった。まだまだ、自分でも納得できていないことがたくさんある。もっと全てのことがこなせる人間になりたい。時間はもう1年をきった。後悔しないようにできる限りのことを精一杯して引退したい。この最高な仲間のいるボート部に入って3年間ぐらい過ごしてきたからには今まで以上の人間になれるよう最後までやり通します。



統制 小尻 美樹

同志社大学 法学部・法律学科

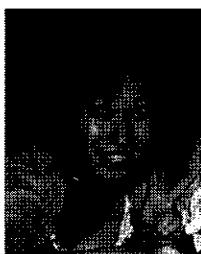
ついに最高学年になった。自分のしてきたことに「大変だった」とコメントを出しがまだできない。私のしていることは不正確で抜けていて要領が悪い。ツメがあまい。目指すものはまだまだ遠い。頑張っていこうと思う。



記録 小堀 礼子

同志社大学 商学部・商学科

漕手のいくえにも重なった手のマメを見るといつも励されます。マネージャーとして4年目をむかえるが、何か残せているだろうか。初心を思い出して、ラスト1年すべてをボート部においていこうと思う。



艇友会 真部 祐香里

同志社女子大学 学芸学部・英語英文学科

とうとう最上回…早いなあ。

まだまだずっと言っている「憧れられる存在」になっていないだろう。それにはまだ遠いからやることやって、新しいことやって、めーいっぱいボート部のためにマネとしてやっていこうと思う。お金集めてご飯のときに納豆出したい。オレンジジュース出したい。目標はいっぱいある。これが部になると信じて、勝つことを願って、最後の年がんばっていきます。

そして…大輪の花咲かせます。



広報 吉田 美香  
同志社女子大学 現代社会学部・社会システム科

最後の年になり、責任の重さを実感している。私も同志社大学ボート部の力となる！  
「大好きなボート部に何か残すことができた。」そう思えるまで、やってやってやり抜いて引退の日を迎えようと思う。

## 新3回生



今村 洋一朗  
同志社大学 経済学部・経済学科  
173 cm・65 kg

自分の持っていないものに不満を抱いていると、自分が持っているものに意識が向かなくなります。その結果、自分の受けている恩恵に感謝して生活することができなくなります。僕たちは合宿所があり、すばらしい艇庫があり、艇、オールもあり、マネージャーもいて、たくさんのOBさんに支えられています。このことに僕はとても感謝しています。同志社ボート部でボートができる事を常に感謝し、練習に取り組みます。この感謝の気持ちを今シーズンは、結果でおかえしいたします。がんばります。



片岡 勇人  
同志社大学 法学部・法律学科  
169 cm・71 kg

今年一年、僕は本当に貴重な経験をしました。全日から始まり軽量級、関選、インカレ、新人選、加古川、決して良い結果が残せたわけではありません。速いクルーに食い下がって、人から「よく頑張った」と言われたこともありますが、レース結果に記されたのは「敗退」の2文字だけでした。「お前らのわりにはよく頑張った」と言われている気がして自己反省を繰り返しました。結局、どれほど頑張ったと思っていようが、求められるのは結果だけ、という現実を痛いほど感じました。戸田での経験で、自分なりに足りないものを見つけられたので、あとはオフシーズンで実践するのみです。「お前らのわりには」ではなく「お前らだから」と言わせるためにも。



可児 恵史  
同志社大学 法学部・法律学科  
169 cm・70 kg

ボート部に入部してはや1年半が過ぎた。一回生のころはただ先輩についていけよかったです。二回生となった今、上回生としての責任を果たしつつ、自分の目標も達成しなければならない。自分に厳しく、そして常に結果を求めて合宿生活を送っている。戸田の表彰台の一番高い場所を目指して…。



勘田 泰邦

同志社大学 文学部・英文学科

172 cm・67 kg

2005年はとても苦しました。ケガをして3か月間ボートをこげませんでした。人間関係においてもギクシャクしたところがありつらい毎日を送りました。しかし、こうした苦悩の日々を無駄にしないようにするために、これらのこと反省材料とし、2006年シーズンを戦い抜こうと思います。

そこで特にはないけど今年の決意を3つほど…。

まずは、何ごとも積極的に取り組みます。ボートだけでなく、普段の生活においても言えることだが、何でも嫌々やっていても伸びません。ケガでもして単調な生活にならなあさらです。そのため、常に自分のできることを積極的に見つけていき、それをしっかり楽しみながら取り組んでいきます。「踊らされるな自ら踊れ」の精神で！！

次に、他人のことを考えて行動します。私が今こうしてボートを楽しく漕げるのは、多くの人達に助けられているからです。ケガをしてツライ時期には1つ上の先輩方、同回の仲間達、また元気な後輩達にいろいろ支えになってもらいました。そんな皆の為に、僕ができる1番のことは力一杯ボートを漕ぐことです。また、OBの方々や女子マネさんはすばらしい結果を待っています。そのためにも、1日1日を大切にしています。

このような決意のもと今年は燃えていきますよ！！ファイヤー！！



末廣 聖也

同志社大学 商学部・商学科

177 cm・77 kg

世界最強の男と呼ばれたモハメド・アリがこんなことを言っていた。  
「人生でも、リングの上でもダウンすることはなんら問題ではない。ダウンしたまま  
でいることが問題だ。」と。

失敗や負けたことをいつまでも考えず、なぜ失敗したのか、なぜ負けたのかを考え  
ていきたい。そして来シーズンの結果につながる練習をしていく。



津村 一平

同志社大学 経済学部・経済学科

179 cm・73 kg

今年は僕にとって4年間のボート生活の上で大きな下積み期間となりました。朝日レガッタから加古川レガッタにいたるまですべての大会に出場させてもらいました。いろいろな艇に乗り、毎試合違うクルーで練習し、追い込み、全日、インカレで結果を残すことはできませんでしたが、経験を確実な成長を得ることができました。

この経験を活かすべく、そして成長を確実な実力にするべくこの冬で生まれ変わります。そして、今シーズン結果をもぎとります！！



渡辺 涼太

同志社大学 工学部・機械システム工学科

170 cm・55 kg

メダルをとった。うれしかった。まさか自分が全国でメダルをとるなんて思わなかつた。以前の自分なら純粋によろこべたんだと思うけど今は違う。決勝で勝てなかつたことがやっぱり悔しい。はっきり言って勉強しに親に迷惑かけてまで大学きたのに今の生活の中心は完全にボートにある。ここまでできたら男の子なら一度は夢みる「最強」の名を手にしたい。今期はもっとレベルアップして「最強」「彼女」「単位」の3つをGETできるようにがんばります☆



統制 太田 久美子  
同志社大学 法学部・政治学科

ボート部に入って本当に良かった。2年目にして改めてそう思う。周りを見れば、真剣に練習に励む漕手、真摯に仕事に取り組むマネージャーの姿がある。その姿が時に私を叱咤激励し、背中を押し、パワーを与えてくれる。みんなから刺激を受け、私も去年に比べて少しあは成長できたように思う。しかし経験が増えた分、自分に足りないもの、まだまだ成長できる所もたくさん見えてきた。こうして自分に自信を持つこと、さらに現状に満足せずに常に上を目指すことを私に教えてくれたのもボート部である。

今の私はボート部に育てられている。すっかりボート部色に染まった私が持てる力の全てを、これからも艇速を上げるために捧げることを誓う。



艇友会 太田 知里  
同志社大学 政策学部・政策学科

体育会ボート部に入部し、まわりのこと、自分のことを考える機会が増えました。「もっとこうすれば、もっとできたのに…」と思うのと同時に「もっとこうしたい、もっとこうできる…」とも考えます。「もっと」が私自身を広げ、成長させてくれています。そしてこの「もっと」が部にプラスになるように励みたいです。  
「ありがとう」と心から思ってもらえるようなマネージャーを目指します！！



広報 京田 枝里子  
同志社大学 法学部・法律学科

2回生になり、1回生のときよりも同志社大学ボート部について考えるようになりました。それに比例するよう、ボート部に対する思いも強くなっています。そんなボート部のために少しでも役に立てるよう、「自分がすべきことは?」を常に考えて、行動していきたいと思います。また、先輩・同回・後輩のみんなから、たくさんのことを見て吸収して、日々マネージャーとして成長していきたいとも感じています。この2つを心がけ、責任と自覚を持って頑張ります。



記録 塩屋 沙織  
同志社大学 商学部・商学科

マネージャーになって2年が経ちました。去年よりずっと、「ボート部に入部してよかったです」と想っています。去年より、マネジメントに真剣に取り組み、頭を働かすようになりました。しかし、周りに頼りすぎてしまっている所やふがいない所がまだ沢山あります…。

これからも、数少ない当番を大切に、丁寧に、楽しみながら熟し、その中でマネジメントについて「どうしたら良くなるだろう??…こうしたら良いじゃん！！」と考え、行動していきたいです。



広報 中野 納理  
同志社女子大学 生活科学部・食物栄養学  
管理栄養士専攻

去年はOB訪問をさせていただいたこともあり、より一層ボート部でのいろいろな人達の支えの偉大さや、つながりの深さを強く感じました。試合を重ねるうちに日々成長し続けていく漕手たちにおいて行かれぬよう、また今年も一年頑張りたいと思います。いっぱい感動して楽しみながら、ボート部を応援し続けていきたいです。

## 新2回生



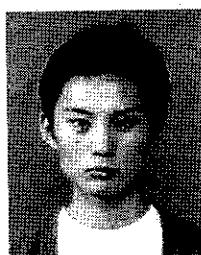
有木 良輔

同志社大学 経済学部・経済学科

161 cm · 60 kg

僕には二つの目標があります。一つは「古豪復活」の力になること、もう一つは「スポーツ編集記アトム」の一面を飾ることです。この二つの目標を成し得るのは、そう簡単なことではない。体力面・精神面において想像以上のものが待ち構えているでしょう。でもボートに魅せられて集まった仲間がここにはいるから、やっていける。

一回生のあいだにいくつかの試合に出たが、一番に感じたことはレース中、しんどいにもかかわらず漕いでいるのが楽しい、相手クルーと競るということがこんなにも楽しいものなのかなということです。また同志社大学ボート部という組織がたくさんの方々によって成り立っているということ、そして総会を通じてOB・OGの現役生に対する期待の大きさを感じ、その期待に応えたいと強く思いました。同回生の漕手のなかでは一番小柄な僕ですが強さとうまさを兼ね備えた漕手になり、篠澤や他の一回生で最初に書きました二つの目標を達成すべく日日是決戦をモットーに力強く漕いでいきたいと思います。



河合 弘貴

同志社大学 経済学部・経済学科

178 cm · 63 kg

僕が学生生活で最も大切にしていることは自分自身を高めることです。ボート部に入部したのもそのためだと思って毎日の練習をしています。実際に入部したころと比べ自分が身体的な面だけでなく精神的にも成長したと思えることがとても嬉しいです。ただ足りないところも数えきれないほどあります。例えば物事に対する積極的な姿勢や学業との両立、それに体力、技術、精神力の3点もまだまだ未熟です。最も足りないのが一年、二年先を見ていまを頑張ることです。そこで僕が考えた目標は全国大会で通用する戦力になることです。この大きな目標に向かって目前の練習や大会で精一杯頑張っていきたいと思います。



川口 正嗣

同志社大学 工学部・エネルギー機械工学科

178 cm · 78 kg

ボート部で、ボートをすると決めたからには、日々の練習を全力で行って、その練習の成果を試合で、すべて発揮して勝てるように、日々の練習をしていきたいと思います。



川渕 智貴

同志社大学 経済学部・経済学科

163 cm · 55 kg

人は大きくなれる！！僕はこのボート部に入部してそう思った。そして自分の小ささを思い知った。僕が今、ボート部で何ができるかを考えたら、何も見つからない。まず僕がすることは、何か一つ何でもいい、小さなことでもいいので、目標を作り、それを達成すること。達成したら、さらに上の目標をたてて、1歩1歩、大きな人間になりたいと思う。



金野 裕輝

同志社大学 文学部・国文学科

175 cm · 69 kg

小・中・高とそれぞれ異なる部活をしてきましたが、大学でも初挑戦のボート部に属しました。僕ら2005年度生はまるっきり初心者クルーです。セレ・経験者は一人ずつ、みんなが初めてこの競技に望みます。それでもやっぱり僕らは初心者なりに頑張って“勝ちにいく”つもりで日々練習しています。

心も身体も疲労度“大”的部活ですが、絶対に全国で旗揚げするつもりです。応援よろしくお願いします。



篠澤 和耶

同志社大学 商学部・商学科

181 cm・78 kg

今、過去を振り返ってみると、まさか大学でもボートをしているとは思いませんでした。高校から始めたボート…。あのようなしんどいことをするのに、また大学でもするということは、やはりなんだかんだ言ってボートが好きなんだと改めて思いました。今の自分があるのも、ボートに出会っていたからだと思います。ボートは本当に僕の人生を変えてくれたかけがえのないものです。僕と同じセレの先輩方は高校の時に全国優勝など、輝かしい成績を持っているが、僕は持っていません。僕にとって今年最後の全国大会の全日本新人選手権で3位になり、ボート人生初のメダルを獲得した時は本当に嬉しかったです。でも、目標は優勝なので来年はその目標が達成できるように、1モーション1モーションを大切に頑張っていきたいと思います。



瀬川 敏克

同志社大学 政策学部・政策学科

171 cm・58 kg

気がつけばもう加古川レガッタ前である。4月に入部して以来、軟弱な心と体の私がよくぞここまでやってこれたと正直思う。入った頃は予想もしなかったほどの厳しいモーションと合宿生活…。勉強とモーションのダブルパンチに私は日々疲れながらも自らの少しの成長を実感している。力漕マニアのK君につられて読んだ力漕で、先輩方の熱い思いを知るたびに自分もこの部で勝利に貢献したいと思うようになった。軟弱な自分と向きあいつつ、どれだけ目標・勝利に向かって努力し、結果を残していくかが私の課題である。全力を尽くします！



長野 純丈

同志社大学 商学部・商学科

182 cm・84 kg

勝ちたい！言うのは簡単だが、それを達成するには人一倍の努力が必要だ。今まで僕は勝ちたいといいながらもどこか自分だけ満足するような練習をしてきたと思う。だけどこれからは他人に認められるように努力していきたい。きっとそれが勝つということにもつながると思う。



内藤 毅人

同志社大学 文学部・文化史学科

165 cm・80 kg

私は、未熟ながらも、いち歴史家であります。ゆえに、120年近くの歴史を誇る同志社ボート部の伝統というものに引き付けられたのかもしれません。しかし、歴史学というものは過去を知るだけの学問ではない。過去を知り、未来へと繋げる、このような学問であります。先輩方が築いてこられた同志社ボート部の歴史を尊重し、私達でボート部の新たな歴史の1ページを綴っていきたいと思う。



北野 万里香

同志社大学 社会学部・メディア学科

大学で何か得られるものがあるのか心配だった私が今、とても充実しているのはボート部のおかげです。任される仕事に責任を持ち、求められる以上のことをして考えるようにになりました。

今は仕事をこなすことに精一杯でわからなければすぐ誰かに聞いてしまいます。頼れる人が近くにいると甘えてしまうのが私の悪い癖です。しかし、これからはマネージャー業を通じて「吸収」と「成長」を繰り返していきたいと思っています。そして、ボート部や漕手のために自分の力を使えるようになることが私の「成長」だと信じています。



佐藤　まい子  
同志社大学 文学部・英文学科

『一人で泣くのは簡単だけど、一人で笑うのは難しい』。勧誘期間中に配られていたボート部ポスターのこの言葉に惹かれてお花見に参加し、入部してからあつというまに半年が過ぎました。初めての当番の日、胸をドキドキワクワクさせながら合宿所へ向かっていた時のこともまだ鮮明に思い出されます。この半年間は初めてのことばかりでとまどりましたが、それ以上にボート部での日々はとても楽しく充実していました。けれど、マネージャーの仕事においてはまだまだ先輩方に頼ってしまうところが多く、言われた仕事をこなすことばかりに必死でした。半年が過ぎ、もう「1回生だから」なんて言い訳が通用しない時期になったからこそ、これからは今までのような受身の姿勢ではなく、日々精一杯頑張っている漕手さん達のために、また部全体のために今何ができるのか、何をすべきなのかを自ら考え、気付き、行動していくけるマネージャーになっていきたいです。そんなマネージャーになれた頃、私はもっともっとボート部のことが好きになっていると思います！

### 年間スケジュール

#### 2005年

- 2/28 新艇庫完成  
3/12 新艇庫竣工式 及び祝賀会  
4/2, 9, 16, 23 試乗会  
5/1~4 朝日レガッタ  
6/2~5 第83回全日本選手権大会  
6/11, 12 関西学生新人レガッタ  
7/1~3 第27回全日本軽量級選手権大会  
8/8 献花式  
8/20, 21 関西選手権大会  
9/10~13 第60回国民体育大会  
9/11 かいつぶりレガッタ  
10/1, 2 第51回琵琶湖レガッタ  
10/6~9 第32回全日本大学選手権大会  
10/7 関東艇友会  
10/16 第40回京都レガッタ  
11/4~6 第46回全日本新人選手権大会  
11/12 総会  
11/18~20 関西学生秋季選手権大会（加古川）  
12/25 納会

---

#### 2006年

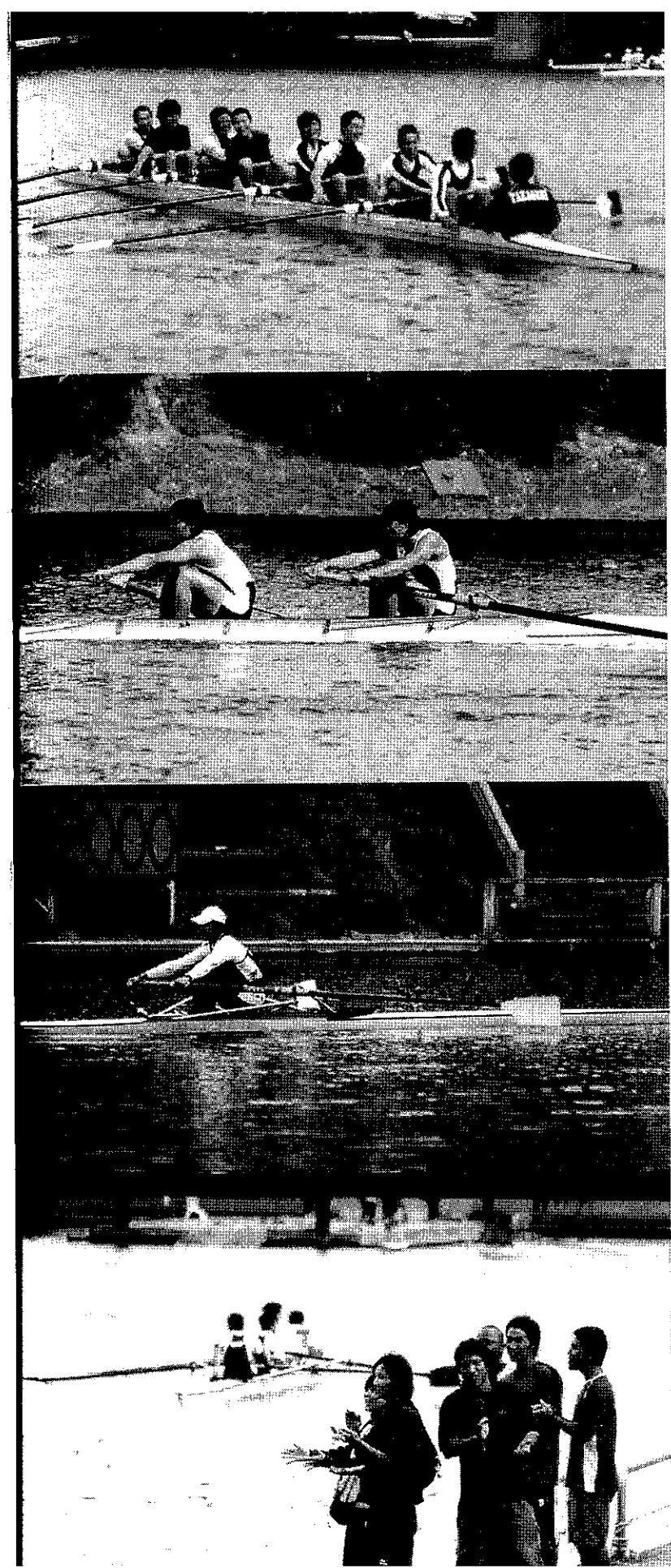
- 1/2 初漕ぎ  
1/7 練習開始  
1/28 スポーツユニオン総会 祝勝会

#### 2006年予定

- 5/3~6 朝日レガッタ 琵琶湖漕艇場  
6/8~11 第84回全日本選手権大会 埼玉戸田ポートコース  
7/7~9 第28回全日本軽量級選手権大会 埼玉戸田ポートコース  
8/8 献花式  
8/18~20 関西選手権大会  
8/24~27 第33回全日本大学選手権大会 埼玉戸田ポートコース  
10/20~22 第47回全日本新人選手権大会 埼玉戸田ポートコース

戦

績



2005年度

## 第58回 朝日レガッタ

(2005.5.1～5.4 滋賀県立琵琶湖漕艇場)

### ☆男子エイト

S 山崎 翔吾 (商4)  
7 宮内 裕太 (商3)  
6 末廣 聖也 (商2)  
5 高寄 崇 (工3)  
4 津村 一平 (経2)  
3 可児 怜史 (法2)  
2 角谷 明彦 (法3)  
B 中村 周作 (商3)  
C 渡辺 涼太 (工2)

### <予選>

クルー	着順	1000m
京都大学	2	3' 03" 55
瀬田漕艇倶楽部	4	3' 09" 13
同志社大学	3	3' 04" 65
明治安田生命	1	2' 52" 53
関西大学 C	5	3' 24" 41

### <敗者復活戦>

クルー	着順	1000m
関西大学 C	5	3' 16" 90
同志社大学	2	2' 57" 87
神戸大学	1	2' 55" 98
瀬田漕艇倶楽部	3	3' 06" 55
広島大学	4	3' 08" 06

### <準決勝>

クルー	着順	1000m
関西大学 B	6	3' 08" 35
同志社大学	5	3' 08" 27
関西大学 A	4	3' 06" 20
明治安田生命	1	2' 56" 15
立命館大学	2	3' 02" 47
滋賀大経済学部	3	3' 05" 45

### ☆女子シングルスカル 3位入賞

望月 美岐 (同女現社3)

### <予選>

クルー	着順	1000m
照井 (立命館大学)	4	4' 46" 50
望月 (同志社女子大学)	1	4' 16" 19
豊田 (大垣共立銀行)	3	4' 23" 44
竹本 (金沢大学 A)	5	5' 02" 69
鳥山 (広島大学 A)	2	4' 17" 45
大山 (岡山大学 C)	6	5' 16" 18

### <準決勝>

クルー	着順	1000m
皆川 (金沢大学 C)	4	4' 54" 49
阿部 (明治安田生命)	1	4' 21" 92
望月 (同志社女子大学)	2	4' 28" 17
小阪 (旭水艇友会)		除外
山口 (広島大学 B)	3	4' 40" 44

<決勝>

クルー	着順	1000m
望月 (同志社女子大学)	3	4' 09" 15
今若(龍谷大学A)	4	4' 15" 07
新名(岡山大学A)	5	4' 24" 22
岩本(アイリスオーヤマ)	1	3' 58" 93
阿部(明治安田生命)		棄権
豊田(大垣共立銀行)	2	4' 07" 16

～試合を終えて～

今年の朝日は絶対勝ちたかった。今年の冬練は正直きつかった。毎週45分、60分漕エルゴして、他にもエルゴのメニューの量は、1年の冬と比べたら、断然今年の方がきつかった。1年の時にしていたウエイトもやった。体型もかなりオアズマンぽくなかった気がする。乗艇の調子も良くなっていた。だから、なおさら勝ちたかった。自己満足でこの冬の成果を片付けられたくなかった。予選・準決ともにコースコンディションは悪かった。決勝・・・私は1レーンだった。決勝前夜、とにかくコースコンディションがいいことを心から願った。当日、私はスタート5分前まで、波に言い聞かせていた。「もう少し荒れるのは待ってくれ」と。決勝・・・。コンディションは私に味方してくれた。表彰されたのは今回3番目になってしまったけど、部員のみんなは喜んでくれた。その時初めて心から笑えた気がした。来年、さらに上を目指し、今年も頑張ります。

望月 美岐(同女現社3)

☆男子シングルスカル

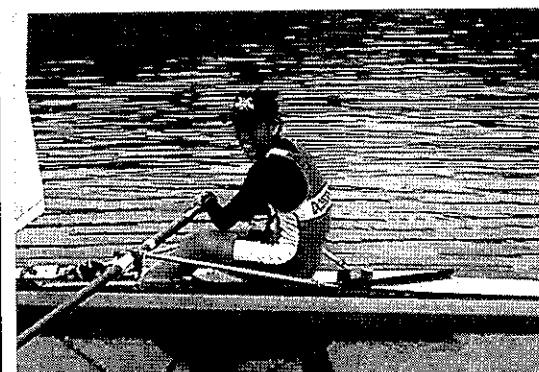
勘田 泰邦(文2)

<予選>

クルー	着順	1000m
春山(金沢大学)	6	4' 13" 10
藤川(今治造船)	1	3' 39" 09
勘田(同志社大学)	5	4' 11" 09
和田(兵庫大学)	3	3' 54" 05
越智(龍谷大学A)	2	3' 44" 31
田中(京都大学G)	4	4' 03" 12

<敗者復活戦>

クルー	着順	1000m
勘田(同志社大学)	2	3' 58" 40
隅水(龍谷大学)	3	3' 59" 22
貴志(和歌山RC)	1	3' 54" 89
山田(京都大学II)	4	4' 04" 81
田中(南山大学A)	5	4' 23" 90



## 第83回 全日本選手権大会

(2005 6/2~6/4 戸田ポートコース)

☆女子シングルスカル

望月 美岐(同女現社3)

<予選>

クルー	着順	2000m
福島(東京経済大学)	3	9' 04" 18
後藤(ソニー美濃加茂)	1	8' 27" 63
望月(同志社女子大学)	2	8' 39" 38
阿部(防衛大学校)	4	9' 14" 49

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
松川(三菱BC)	4	9' 17" 75
望月(同志社女子大学)	1	8' 49" 53
小林(一橋大学)	2	9' 00" 87
横堀(学習院大学)	3	9' 08" 70

<準決勝>

クルー	着順	2000m
藤坂(鹿屋体育大学)	2	9' 25" 73
福地(仙台大学)	1	9' 03" 78
望月(同志社女子大学)	3	9' 34" 99
中川(滋賀大学経済学部)	4	10' 03" 41

☆男子ダブルスカル

S津村 一平(経2)

B篠澤 和耶(商1)

<予選>

クルー	着順	2000m
慶應義塾大学	1	7' 05" 79
千葉大学	6	7' 41" 57
筑波大学	4	7' 32" 81
円山川城崎RC	5	7' 36" 24
茨城大学	2	7' 06" 67
同志社大学	3	7' 26" 34

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
成蹊大学	5	7' 55" 28
法政大学	2	7' 28" 73
茨城大学	1	7' 16" 71
同志社大学	3	7' 35" 07
神戸大学	4	7' 42" 25
埼玉県警察機動隊		棄権

☆男子舵手付きフォア

S 片岡 勇人 (法2)  
3 可児 恵史 (法2)  
2 角谷 明彦 (法3)  
B 中村 周作 (商3)  
C 渡辺 涼太 (工2)

<予選>

クルー	着順	2000m
同志社大学	5	7' 14" 56
東京経済大学	1	6' 65" 58
明治大学	4	7' 13" 43
滋賀大学経済学部	3	7' 07" 64
名古屋大学	2	7' 06" 86

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
同志社大学		棄権
早稲田大学	4	7' 47" 46
関西電力美浜	1	7' 21" 53
熊本大学	3	7' 43" 09
岡山大学	2	7' 32" 55

☆男子舵手なしフォア

S 宮内 裕太 (商3)  
3 山崎 翔吾 (商4)  
2 高寄 崇 (工3)  
B 末廣 聖也 (商2)

<予選>

クルー	着順	2000m
早稲田大学	2	6' 33" 6
同志社大学	5	7' 05" 69
中央大学	3	6' 40" 38
中国電力	6	7' 09" 47
NTT東日本東京	1	6' 23" 67
東京経済大学	4	6' 44" 32

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
富山国際大学	4	7' 21" 54
東京大学	2	6' 56" 40
法政大学	1	6' 54" 01
同志社大学	3	7' 04" 44

～試合を終えて～

全日の結果は敗復負けという結果に終わった。予選では、スタートで一気に離され勝負ができなかった。敗復では、スタートは予選よりいいスタートができたが、中盤でどんどん離され、そのまま負けてしまった。

僕自身、今回4ーという種目で難しい種目もあり、うまく漕ごうとか、バランスとかを第一に考えすぎたと思った。試合に来て他のクルーを見たら、少々バランスが崩れようが、とにかく艇を進める、スピード第一という感じに見えた。

この大会で一番肝心なことを忘れていたなど感じた。

これを機に、まずは艇を速く進めることを第一に考える。それと少し勢いもなかつたように思えたので、試合では自分の力をすべて出し尽くすつもりでやる。そして、もっと対校である自覚を持ち、今年は一つでも多く結果が残せるようにしたい。

末廣 聖也 (商2)



# 平成17年度 関西学生新人レガッタ

(2005 6/11~6/12 滋賀県立琵琶湖漕艇場)

## ☆男子舵手付きフォアA

S長野 純大(商1)  
3河合 弘貴(経1)  
2片村 有宏(商1)  
B橋村 心平(政1)  
C渡辺 涼太(工2)

## 〈予選〉

クルー	着順	500m
京都大学E	4	2' 31" 29
甲南大学C	5	2' 33" 13
神戸大学B	3	2" 24" 74
同志社大学A	1	2' 17" 56
関西学院大学B	2	2' 23" 74

## 〈準々決勝〉

クルー	着順	500m
甲南大学D	5	2' 13" 52
同志社大学A	2	2' 05" 11
大阪府立大学	1	2' 04" 11
関西学院大学C	4	2' 07" 78
京都大学医学部B	3	2' 07" 44

## 〈準決勝〉

クルー	着順	500m
近畿大学B	4	2' 08" 24
大阪大学C	2	2' 02" 97
大阪市立大学A	1	1' 58" 11
同志社大学A	5	2' 09" 46
神戸大学C	3	2' 07" 17

## ☆男子舵手付きフォアB

S鈴木 翔(政1)  
3瀬川 敏克(政1)  
2三野 達矢(神1)  
B川渕 智貴(経1)  
C角谷 明彦(法3)

## 〈予選〉

クルー	着順	500m
関西学院大学A	1	2' 13" 67
神戸大学C	2	2' 17" 55
同志社大学B	5	2' 29" 39
大阪市立大学C	3	2' 21" 85
甲南大学B	4	2' 23" 40

## 〈敗者復活戦〉

クルー	着順	500m
甲南大学C	3	2' 15" 60
神戸大学E	4	2' 15" 93
京都大学A	1	2' 10" 30
同志社大学B	2	2' 14" 90
甲南大学A	5	2' 29" 36

## 〈準々決勝〉

クルー	着順	500m
京都大学A	3	2' 08" 49
滋賀医科大学	1	2' 01" 82
大阪工業大学A	2	2' 06" 35
近畿大学C	4	2' 12" 70
同志社大学B	5	2' 24" 36

## ☆男子舵手付きフォアC

S有木 良輔(経1)  
3川口 正嗣(工1)  
2金野 裕輝(文1)  
B内藤 毅人(文1)  
C今村 淳一朗(経2)

## 〈予選〉

クルー	着順	500m
関西学院大学C	1	2' 17" 86
同志社大学C	2	2' 27" 23
甲南大学A	4	3' 16" 40
神戸大学F	3	2' 48" 84

## 〈準々決勝〉

クルー	着順	500m
神戸大学B	2	2' 06" 89
滋賀大学経済学部B	1	2' 00" 05
京都大学C	3	2' 08" 11
同志社大学C	5	2' 19" 29
京都大学 医学部A	4	2' 13" 79

## ～試合を終えて～

初めての試合を経て、学んだことはたくさんありました。相手が経験者とかセレクションとかに関係なく、僕ら自身の漕ぎができていませんでした。もちろん練習量などの差もありますが、一番大事なメンタル面、全員が団結して戦うことができませんでした。正直なところ、ボートがこれほど難しい競技だとは思ってなく、軽視していたところもあると思います。

今回の大会は敗者復活戦の一勝だけでしたが、勝ちの味も負けの味も思い知りました。まだ始まったばかりですが、この悔しさを忘れず日々練習していきます。全国を目指すのに、最高の環境と先輩をよい意味で利用し、少しでも早く上達できるよう頑張ります。敗北はしばらく不要です！

金野 裕輝(文1)



# 第27回 全日本軽量級選手権大会

(2005 7/1~7/3 戸田ポートコース)

## ☆男子ダブルスカルA

S 山崎 翔吾 (商4)  
B 宮内 裕太 (商3)

## 〈予選〉

クルー	着順	2000m
関西電力美浜	2	7' 16" 40
住友金属 鉄っ子	3	7' 19" 54
鹿屋体育大学	5	7' 26" 58
同志社大学 A	4	7' 23" 54
仙台大学 C	1	7' 11" 90

## 〈敗者復活戦〉

クルー	着順	2000m
龍谷大学 B	4	7' 37" 27
同志社大学 A	1	7' 09" 78
北海道大学 A	2	7' 22" 14
南山大学	3	7' 34" 98

## 〈準決勝〉

クルー	着順	2000m
HongKongA	3	7' 23" 35
トヨタ紡織	1	7' 11" 05
日本大学 B	2	7' 13" 35
同志社大学 A	4	7' 34" 73

## ☆男子ダブルスカルB

S 可児 恵史 (法2)  
B 角谷 明彦 (法3)

## 〈予選〉

クルー	着順	2000m
北海道大学 B	3	7' 39" 59
日本大学 B	1	7' 18" 48
同志社大学 B	5	8' 30" 23
全誠訪	2	7' 33" 37
岐阜経済大学 B	4	7' 46" 79

## 〈敗者復活戦〉

クルー	着順	2000m
岐阜経済大学 B	2	7' 18" 57
住友金属鉄っ子	1	7' 10" 29
東京大学	3	7' 18" 32
同志社大学 B	4	7' 41" 99

## ☆男子舵手なしクオドルブル

S 中村 周作 (商3)  
3 津村 一平 (経2)  
2 片岡 勇人 (法2)  
B 高寄 崇 (工3)

## 〈予選〉

クルー	着順	2000m
一橋大学	2	6' 37" 19
同志社大学	3	6' 38" 06
龍谷大学	1	6' 26" 56
熊本大学	4	6' 57" 99

## 〈敗者復活戦〉

クルー	着順	2000m
東京外国語大学	4	6' 52" 02
東京医科歯科大学	2	6' 32" 56
仙台大学	1	6' 28" 70
富山国際大学	3	6' 36" 74
同志社大学	5	6' 58" 53



# 平成 17 年度 関西選手権競漕大会

(2005 8/20~8/21 大阪浜寺漕艇場)

☆男子エイト 3 位入賞

S 高寄 崇 (工 3)

7 末廣 聖也 (商 2)

6 篠澤 和耶 (商 1)

5 片岡 勇人 (法 2)

4 中村 周作 (商 3)

3 津村 一平 (経 2)

2 宮内 祐太 (商 3)

B 山崎 肇吾 (商 4)

C 渡辺 涼太 (工 2)

<予選>

クルー	着順	2000m
大阪大学	3	7' 32"30
同志社大学	2	7' 09"40
大阪市立大学	4	7' 56"79
岡山大学「kaiser」	1	6' 56"21

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
大阪市立大学 C	4	8' 35"80
大阪大学	2	7' 17"09
同志社大学	1	7' 00"29
広島大学「LANCIA」	3	7' 23"30

<準決勝>

クルー	着順	2000m
関西大学	3	6' 38"22
神戸大学	1	6' 32"60
岡山大学「kaiser」	4	6' 38"97
同志社大学	2	6' 33"78

<決勝>

クルー	着順	2000m
京都大学	1	6' 18"77
神戸大学	2	6' 28"41
関西大学	4	6' 36"17
京都大学「千都」	5	6' 46"76
同志社大学	3	6' 32"54

☆女子シングルスカル 優勝

望月 美岐 (同女現社 3)

<予選>

クルー	着順	2000m
山中 (岡山大学「沖元」)	5	10' 44"82
皆川 (金沢大学 A)	3	9' 20"74
川崎 (大垣共立銀行)	2	9' 10"17
望月 (同志社女子大学)	1	8' 36"56
磯浦 (追手門学院大学)	4	9' 51"00

<準決勝>

クルー	着順	2000m
早川 (名古屋大学 A)	2	9' 08"40
望月 (同志社女子大学)	1	8' 49"74
伊勢田 (広島大学 B)	3	9' 33"57

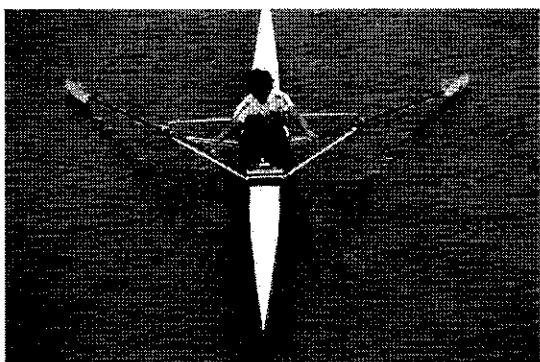
<決勝>

クルー	着順	2000m
川崎 (大垣共立銀行)	3	9' 44"12
豊田 (大垣共立銀行)	2	9' 42"09
望月 (同志社女子大学)	1	9' 38"65
福田 (立命館大学)	5	10' 00"28
中川 (滋賀大経済学部)	4	9' 45"88

～試合を終えて～

この試合はインカレに向けての大事な 1 歩となる試合だったと思います。結果だけを見たらよかったですと言えますが、試合の内容的に見たら、まだまだダメだなと実感しています。インカレで最終日に残るためには、もっと前半から出れるような試合展開を組み立てていく必要性があるので、インカレまでの 1 か月は、スピード強化を一層頑張りたいと思います。相手が崩れるのを待つのではなく、自分の漕ぎを強めて、自分のレースをしていきたいです。

望月美岐 (同女現社 3)



## 第60回 国民体育大会

(2005 9/10~9/13 岡山市百間川ポートコース)

☆男子舵手付きフォア

S 宮内 裕太 (商3)  
3 末廣 聖也 (商2)  
2 高寄 崇 (工3)  
B 山崎 翔吾 (商4)  
C 鳥井 淳 (H16卒)

<予選>

クルー	着順	1000m
網走選抜 (北海道)	3	3' 31" 99
香川RC (香川県)	4	3' 32" 28
戸田中央総合病院 RC (埼玉県)	1	3' 15" 34
京都選抜 (京都府)	2	3' 26" 71
新潟大学緑悠会 (新潟県)		棄権

<敗者復活戦>

クルー	着順	1000m
群馬選抜 (群馬県)	1	3' 34" 14
京都選抜 (京都府)	2	3' 35" 13
高知選抜 (高知県)	3	3' 48" 17

☆女子舵手なしクォドルブル 6位

S 前田 真希 (龍谷大学)  
3 望月 美岐 (同志社女子大学3)  
2 福田 ゆかり (立命館大学)  
B 中川 真希 (滋賀経済大学)  
C 法事庵 博子 (龍谷大学)

<予選>

クルー	着順	1000m
曾津磧漕会 (福島県)	4	3' 37" 20
明治安田生命保険相互 会社 (東京都)	1	3' 35" 80
福岡選抜 (福岡選抜)	5	3' 57" 42
京都選抜 (京都府)	2	3' 37" 07
鳥取県選抜 (鳥取県)	3	3' 47" 40

<準決勝>

クルー	着順	1000m
香川選抜 (香川県)	4	4' 06" 93
京都選抜 (京都府)	2	3' 54" 75
滋賀選抜 (滋賀県)	1	3' 48" 68
富山選抜 (富山県)	3	3' 55" 14

<順位決定> 5~8位

クルー	着順	1000m
京都選抜 (京都府)	2	3' 37" 20
熊本選抜 (熊本県)	3	3' 39" 02
明治安田生命保険 相互会社 (東京都)	1	3' 37" 02
大分選抜 (大分県)	4	3' 39" 63

## 第51回琵琶湖レガッタ

(2005 10/1~10/2

滋賀県立琵琶湖漕艇場)

☆男子エイト

S 瀬川 敏克 (政1)  
7 篠澤 和耶 (商1)  
6 河合 弘貴 (経1)  
5 川口 正嗣 (工1)  
4 金野 裕輝 (文1)  
3 有木 良輔 (経1)  
2 鈴木 翔 (政1)  
B 勘田 泰邦 (文2)  
C 川渕 智貴 (経1)

<決勝>

クルー	着順	1000m
同志社大学	1	3' 41" 21
瀬田漕艇倶楽部	2	3' 46" 71

(出艇数2艇のため決勝のみ)

## 第32回

## 全日本大学選手権大会

(2005 10/6~10/9 戸田ポートコース)

☆男子シングルスカル

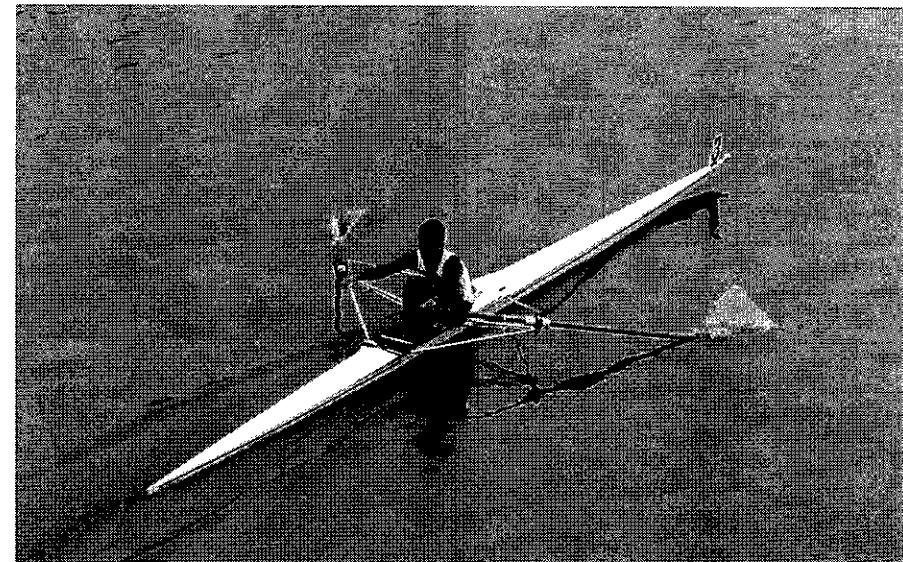
今村 淳一朗 (経2)

<予選>

クルー	着順	2000m
山本(立教大学)	1	7' 37" 50
山本(富山国際大学)	3	7' 40" 96
今村(同志社大学)	4	8' 28" 12
伊藤(明治大学)	2	7' 39" 78

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
勝山(千葉大学)	—	—
菅沢(大同工業大学)	3	8' 16" 31
山本(富山国際大学)	1	7' 48" 55
北野(金沢学院大学)	2	8' 05" 16
今村(同志社大学)	4	8' 29" 97



一 全日本大学選手権大会一

☆女子シングルスカル 総合7位

望月 美岐 (同女現社3)

<予選>

クルー	着順	2000m
小泉(東京経済大学)	3	8'45"06
福地(仙台大学)	1	8'13"23
金木(東京海洋大学)	5	9'45"68
加藤(南山大学)	6	10'29"78
豊田(江戸川大学)	4	9'08"06
望月 (同志社女子大学)	2	8'33"84

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
荻村(東海大学)	5	9'38"78
豊田(江戸川大学)	3	9'09"28
望月 (同志社女子大学)	1	8'42"25
福本(法政大学)	2	9'01"84
中川(一橋大学)	4	9'20"98
杉本(岡山大学)	6	9'58"90

<準決勝>

クルー	着順	2000m
望月 (同志社女子大学)	2	8'24"85
熊倉(早稲田大)	1	8'19"65
伊藤(佐賀大医学部)	4	8'26"30
長谷川 (東京医科歯科大)	3	8'25"81

<順位決定戦>

クルー	着順	2000m
竹花(明治大学)	2	8'58"00
三谷(龍谷大学)	1	8'51"14
望月 (同志社女子大学)	3	9'04"87
中野(鹿屋体育大学)	4	9'13"78

☆男舵手なしペア

S 片岡 勇人(法2)

3 可児 恵史(法2)

2 中村 周作(商3)

B 角谷 明彦(法3)

<予選>

クルー	着順	2000m
日本大学	1	6'40"66
東京工業大学	3	7'03"02
小樽商科大学	4	7'04"39
同志社大学	2	6'52"84

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
石巻専修大学	5	7'38"10
神戸大学	2	7'07"75
岐阜経済大学	1	6'41"77
同志社大学	3	7'11"09
名古屋大学	4	7'25"72

☆男子舵手なしペア

S 末廣 聖也(商2)

B 宮内 裕太(商3)

<予選>

クルー	着順	2000m
岐阜経済大学	4	7'42"70
一橋大学	5	8'16"85
滋賀大経済学部	1	7'21"78
立命館大学	3	7'28"26
同志社大学	2	7'27"74

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
早稲田大理工学部	3	7'52"73
同志社大学	2	7'33"74
北海道大学	1	7'33"16



☆男子舵手つきフォア

S 高寄 崇(工3)

3 山崎 翔吾(商4)

2 篠澤 和耶(商1)

B 津村 一平(経2)

C 渡辺 涼太(工2)

<予選>

クルー	着順	2000m
近畿大学	4	7'13"92
立命館大学	2	7'06"90
早稲田大理工学部	5	7'18"32
南山大学	6	7'36"59
同志社大学	3	7'09"84
筑波大学	1	7'01"67

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
南山大学	5	8'02"16
一橋大学	3	7'51"79
同志社大学	1	7'38"42
岐阜経済大学	2	7'43"84
立教大学	4	7'54"31
大阪府立大学	6	8'11"01

<準決勝>

クルー	着順	2000m
同志社大学	3	7'05"91
中央大学	1	6'54"52
日本大学	2	7'02"28
早稲田大理工学部	4	7'06"53

### ～試合を終えて～

すごく楽しかった。ほんとにその一言に尽きる試合でした。あっさり負けたにもかかわらずレースが終わった後も妙にすっきりしていた。今まで教わった事学んだ事自分の力全て出し切って負けた。だろうか？妙にすっきりしています。もう一緒に乗艇することはないだろうが同じクルーとして漕いだ三人には感謝が絶えない。今も上へ向かって練習している三人の次に少しでもつながればと思います。二年半という長いようで短い時間でしたが同志社大学ボート部の一員として漕がしていただきありがとうございました。これからはマネージャーとして同志社大学ボート部を enjoy したいと思いますと同時に、今まで迷惑かけた分少しでも埋め合わせ出来ればと思います。

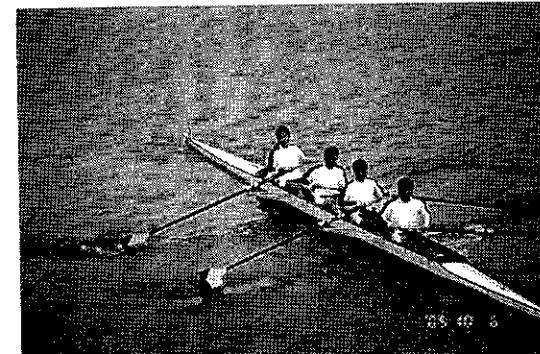
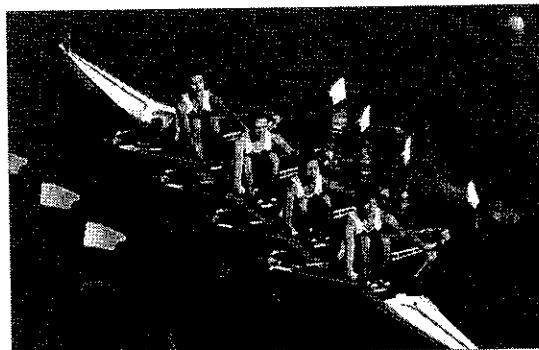
中村 周作(商3)

### ～試合を終えて～

最後のレースでしたが順位も残らない結果となってしまいました。なんとか結果を残そうと試行錯誤してきたつもりですが、今の時点ではこれが限界です。しかし、私は胸を張れる結果だと思っています。準決勝のタイムをみると組によっては決勝まで手が届いていたタイムですし、力で負けたとは思っていません。そして、一つ言えることは同志社大学ボート部は確実に強くなっています。今回のインカレを通して去年よりも力もつき、層も厚くなっていることをはっきりと感じることができました。とくにこの一年間主将としてやってきましたが、それがわかつただけでも本当に満足です。来年から必ず飛躍の年になると期待できます。

最後に四年間支えていただいたすべての方々本当にありがとうございました。四年間、同志社大学ボート部で学んだことを糧とし、これから社会にでてもがんばりたいと思います。

山崎 翔吾(商4)



## 第40回 京都レガッタ

(2005 10/16 滋賀県立琵琶湖漕艇場)

### ☆男子ダブルスカルA

S片岡 勇人(法2)  
B勘田 泰邦(文2)

### ☆男子ダブルスカルB

S高寄 崇(工3)  
B今村 淳一郎(経2)

### <予選>

クルー	着順	1000m
同志社大学 A	4	
龍谷大学 B	3	3' 33" 86
同志社大学 B	5	3' 35" 90
京都大学 A	2	3' 26" 82
立命館大学		棄権
龍谷大学	1	3' 25" 96

### <予選>

クルー	着順	1000m
同志社大学 A	4	3' 53" 00
龍谷大学 B	3	3' 33" 86
同志社大学 B	5	3' 35" 90
京都大学 A	2	3' 26" 82
立命館大学		棄権
龍谷大学	1	3' 25" 96

### <敗者復活戦>

クルー	着順	1000m
京都大学 B	4	4' 05" 29
同志社大学 A	3	3' 44" 70
龍谷大学 B	2	3' 34" 18
瀬田漕艇倶楽部	1	3' 29" 57

### <敗者復活戦>

クルー	着順	1000m
龍谷大学	4	3' 45" 85
同志社大学 B	3	3' 29" 25
京都大学 A	2	3' 28" 51
龍谷大学 A	1	3' 27" 48

### <順位決定>

クルー	着順	1000m
京都大学 B	4	4' 03" 34
龍谷大学 D	3	3' 41" 00
同志社大学 A	2	3' 35" 75
同志社大学 B	1	3' 30" 75

### <順位決定>

クルー	着順	1000m
京都大学 B	4	4' 03" 34
龍谷大学 D	3	3' 41" 00
同志社大学 A	2	3' 35" 75
同志社大学 B	1	3' 30" 75

☆男子エイト

S瀬川 敏克（政1）  
7川口 正嗣（工1）  
6河合 弘貴（経1）  
5長野 純丈（商1）  
4金野 裕輝（文1）  
3有木 良輔（経1）  
2鈴木 翔（政1）  
B中村 周作（商3）  
C川渕 智貴（経1）

<予選>

クルー	着順	1000m
同志社大学	2	3' 15" 91
48年回	1	3' 02" 82
唐橋ローライニングクラブ	4	3' 41" 78
京都大学「京都」	3	3' 19" 66

<敗者復活戦>

クルー	着順	1000m
唐橋ローライニングクラブ	5	3' 28" 04
瀬田漕艇倶楽部	2	3' 13" 85
京都大学「京都」	4	3' 19" 66
同志社大学	3	3' 14" 14
BOMBERS	1	3' 13" 51

<決勝>

クルー	着順	1000m
京都大学「京都」	6	3' 22" 62
同志社大学	4	3' 13" 75
瀬田漕艇倶楽部	5	3' 14" 95
BOMBERS	3	3' 03" 46
48年会	1	2' 57" 20
京都大学「晴嵐」	2	2' 59" 25

～試合を終えて～

決勝レース、スタートから僕らは出遅れ4位。前を行くクルーに追いつこうと必死で漕いだ。中盤、前との差が縮まりその後750mほどまで必死に粘って食らいついていた。そこでコックス川渕の「スパート行こー！」「さあ！行こー！」の掛け声と共にレートは上がり、艇はグン！と加速した。ラスト100mで頭少し出てそのままフィニッシュ。それは自分たちの力で初めて相手を“さした”瞬間であった。決勝の結果だけ見ると4位ではあるが、フィニッシュを通過した瞬間、隣のクルーをさしたと分かり、思わず右手でガッツポーズしたのを覚えている。

この予選、敗復、決勝と3レースもあり、そのレースを重ねるにつれて成長していく自分たちが分かった。そして何よりレース中、そこには相手とのせめぎ合いを楽しんでいる自分がいた。

長い一日ではあったが、同志社大学ボート部に入ってから、また新たな楽しさを身をもって感じた一日だった。

有木 良輔（経1）

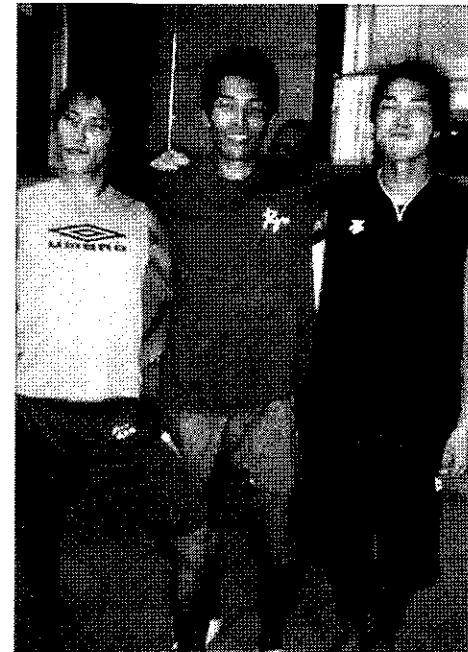
☆男子舵手つきフォア

S末廣 聖也（商2）  
3津村 一平（経2）  
2篠澤 和也（商1）  
B可児 恵史（法2）  
C渡辺 涼太（工2）

<決勝>

クルー	着順	1000m
京都大学	4	3' 29" 04
同志社大学	5	3' 31" 24
滋賀大学教育学部	6	3' 49" 67
龍谷大学	1	3' 15" 04
W.G.J.C.	3	3' 24" 06
滋賀経済4回生	2	3' 21" 49

(出艇数が少ないため決勝のみ)



# 全日本新人選手権大学

(2005 11/4～11/6 戸田ポートコース)

☆ 男子舵手つきフォア 3位入賞

S 末廣 聖也 (商2)

3 篠澤 和耶 (商1)

2 津村 一平 (経2)

B 可児 恵史 (法2)

C 渡辺 涼太 (工2)

<予選>

クルー	着順	2000m
立命館大学	1	7' 11" 47
鹿児島大学	4	8' 14" 77
神戸大学	3	7' 29" 44
同志社大学	2	7' 17" 48

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
東海大学	2	7' 28" 87
同志社大学	1	7' 17" 69
新潟大学	3	7' 42" 19
北海道大学	4	8' 17" 14

<準決勝>

クルー	着順	2000m
東京大学 A	3	7' 04" 11
立命館大学	1	7' 02" 06
滋賀大学経済学部	4	7' 08" 84
同志社大学	2	7' 03" 86

<決勝>

クルー	着順	2000m
京都大学	4	6' 58" 46
立命館大学	2	6' 56" 04
龍谷大学	1	6' 54" 16
同志社大学	3	6' 57" 36

<試合を終えて～

インカレが終わって間も無く、新人戦に向けてのクルーが結成された。この新人戦で結果を残すと残さないとでは、新しい代になった部の勢いの違いに直接つながることは十分分かっているはずだった。しかし、いざ練習してみると、僕自身の意識の低さを痛感し、モーション後のミーティングの後、ひたすらビデオを見て漕ぎのフォームを研究したときもあった。プレッシャーに何度も押しつぶされそうになった。今までこれほどに結果にこだわって練習したことは無かった。

優勝こそできなかったが、結果を求める試合で3位という結果を出せたのは正直、嬉しかった。今後上回生になるにつれ、より一層結果が求められる試合が増えていくが、全ての試合で全力を尽くしていきたい。

可児 恵史 (法2)

～試合を終えて～

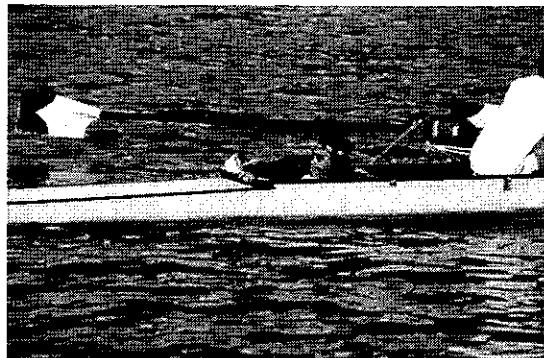
お陰様で今年最後の戸田でのレースで「新人」という制限が付いてはいるものの、なんとかメダルをとることができました。OB の皆様、監督の日方さん、コーチの高橋さん、部員の皆さん、女子マネージャーさん、そして父と母にはとても感謝しています。大学からボートを始め、わずか1年半でこのような結果を残すことは決して一人の力ではできませんでした。しかし、うれしいと同時に3位という結果に優勝を逃したという悔しさを感じています。自分はクルーを引っ張っていく COX という立場にありながら実際にクルーを引っ張れたことはほとんどありませんでした。来年はもっと自立し、クルーを引っ張れるように冬のオフシーズンで自分を鍛えなおしたいと思います。

さて今回のレースですが、僕たちは立命館に予選、準決、決勝と3度も負けました。しかしその中でも自分たちは立命館と比べどこで劣り、どこが勝っているのかと考え、対策を練っていき、その差をつめていたのでその点ではいつものレースと比べとてもよかったです。

しかしその中で、絶対的に足りないのは「勝負強さ」だと思いました。決勝で立命館から逃げ切れなかった、逆に龍谷を逃がしてしまったのは、そこが足りなかつたからだと思います。その点は COX である自分がいかにクルーの力を引き出せるか、使いこなせるかにかかっている部分が大きいと思うので、そこを伸ばせるようにいいていきたいです。また「実力」が足りないのは言うまでもないので、来

年の朝日までやれることをやって「日本最速」を目指し頑張って行きたいと思います。

渡辺 涼太 (工2)



☆男子ダブルスカル

S 片岡 勇人 (法2)

B 勘田 泰邦 (文2)

<予選>

クルー	着順	2000m
千葉大学	5	8' 14" 34
美方高校 B	2	7' 33" 36
同志社大学	3	7' 50" 10
仙台大学 A	1	7' 23" 90
東京外国语大学 A	4	7' 54" 27

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
同志社大学	2	7' 45" 84
茨城大学	1	7' 33" 64
今治西高校 D	3	7' 49" 67
今治西高校 C	4	8' 24" 86

☆男子シングルスカル

今村 淳一郎 (経2)

<予選>

クルー	着順	2000m
野尻 (東京大学 B)	4	8' 26" 39
別府 (仙台大学 B)	1	7' 57" 88
今村 (同志社大学)	3	8' 23" 95
吉田 (今治西高校)	2	8' 10" 06
藤野 (東京外国語大学 E)	5	8' 28" 76



## 2005年度 関西学生秋季選手権大会

(2005 11/18~11/20 加古川漕艇場)

☆女子シングルスカル 優勝

望月 美岐 (同女現社 3)

<予選>

クルー	着順	2000m
高畠 (大阪市立大学 S)	4	9' 05" 85
中川 (滋賀大経済)	3	8' 56" 85
村松 (龍谷大学 B)	2	8' 50" 25
望月 (同志社女子大学)	1	8' 32" 25

<決勝>

クルー	着順	2000m
望月 (同志社女子大学)	1	8' 49" 04
村松 (龍谷大学 B)	3	9' 04" 51
中川 (滋賀大経済)	4	9' 10" 56
三谷 (龍谷大学 A)	2	8' 51" 25

☆男子シングルスカル

末廣 聖也 (商 2)

<予選>

クルー	着順	2000m
藤木 (徳島大学 B)	4	9' 27" 68
宗政 (立命館大学 B)	2	8' 22" 09
末廣 (同志社大学 A)	1	8' 21" 22
湯浅 (龍谷大学)	3	8' 42" 33

<準決勝>

クルー	着順	2000m
西本 (立命館大学 B)	1	8' 42" 43
末廣 (同志社大学 A)	3	9' 00" 61
大橋 (大阪市立大学)	2	8' 53" 55



☆男子シングルスカル

今村 淳一朗(経2)

<予選>

クルー	着順	2000m
今村 (同志社大学B)	3	8'42"58
山本(京都大学E)	4	9'18"50
東(神戸大学A)	1	7'52"59
西本 (立命館大学B)	2	7'57"21

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
藤木(徳島大学B)	3	9'37"20
瀬川(滋賀大教育A)	1	8'45"18
今村(同志社大学B)	2	9'02"91

☆男子ダブルスカル 優勝

S 宮内 裕太(商3)

B 篠澤 和耶(商1)

<予選>

クルー	着順	2000m
清風艇友会	2	7'12"07
主務友の会	4	8'20"86
同志社大学A	1	7'05"35
徳島大学B	3	8'12"69

<準決勝>

クルー	着順	2000m
滋賀医科大 「Mercurius」	3	8'23"93
同志社大学A	1	7'43"67
京都大学A	2	8'12"14
京都大医学部 「清漣」	4	9'05"53

<決勝>

クルー	着順	2000m
清風艇友会	2	7'43"71
立命館大学	3	7'48"93
神戸大学	4	7'50"85
同志社大学A	1	7'33"06

～試合を終えて～

今回加古川レガッタに宮内さんというすごい方とダブルスカルで出させてもらい、僕にとってはとてもいい経験になった。全日本新人選手権から練習期間が一週間という、かなり短い期間でしたが加古川で優勝できるくらいのものになったと思った。試合ではコンスタントの伸びといふ、このクルーの良さがでて、優勝につなげられたので良かったと思う。大きく、強く、速く、がこのクルーでの常に意識するところだった。予選では自分の大きさが出てなくて、良い試合ではなかった。でも、準決、決勝と進んでいくなかで、徐々に良くなって決勝には一番良いものになった。だが、もしこれが全日やインカレだったらこんなことはしてられない。初戦から良いものを出さなければ結果は絶対に残らない…。この加古川優勝とい

うのも出来て当たり前だと思っている。関西での大会で優勝できなかったら全国で優勝するなどとうてい無理な話だと思う！なので目標は常に高く、全日、インカレ優勝という目標を常に心がけこの冬で来年につなげようと思う！

篠澤 和耶(商1)

☆男子ダブルスカル

S 勘田 泰邦(文2)

B 角谷 明彦(法3)

<予選>

クルー	着順	2000m
同志社大学B	3	7'34"55
京都大学A	2	7'28"34
大阪市立大学	1	7'21"45
追手門学院大学	—	—

<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
同志社大学B	1	8'40"79
主務友の会	2	9'27"41

<準決勝>

クルー	着順	2000m
同志社大学B	3	8'28"97
清風艇友会	1	8'12"53
大阪市立大学	2	8'18"81

☆男子舵手付きフォア 3位入賞

S 高寄 崇(工3)

3 津村 一平(経2)

2 可児 怜史(法2)

B 片岡 勇人(法2)

C 川渕 智貴(経1)

<予選>

クルー	着順	2000m
岡山大学「OverDrive」	3	7'33"40
近大・市大'05	2	7'32"92
関西大学	4	8'14"80

<準決勝>

クルー	着順	2000m
岡山大「天鵝」	3	8'41"46
同志社大学	1	8'12"49
岡山大学C	2	8'27"19

<決勝>

クルー	着順	2000m
同志社大学	3	7'38"72
龍谷大学	1	7'27"84
岡山大「鷲羽」	4	7'41"86
岡山大学「桃太郎'02」	2	7'28"22

☆新人男子エイト

S 濑川 敏克 (政1)  
7 有木 良輔 (経1)  
6 金野 裕輝 (文1)  
5 川口 正嗣 (工1)  
4 河合 弘輝 (経1)  
3 長野 純丈 (商1)  
2 鈴木 翔 (政1)  
B 内藤 肇人 (文1)  
C 渡辺 涼太 (工2)

<予選>

クルー	着順	2000m
山口大学 「鴻南」	2	6' 44" 34
京都大学 「千都」	1	6' 19" 92
神戸大学	3	6' 55" 00
同志社大学	4	6' 59" 17



<敗者復活戦>

クルー	着順	2000m
大阪工業大学	3	8' 09" 32
神戸大学B	2	7' 45" 33
同志社大学	1	7' 41" 59

<準決勝>

クルー	着順	2000m
関西大学A	3	7' 01" 57
京都大学 「千都」	1	6' 44" 49
神戸大学A	2	6' 57" 92

<順決定戦>

クルー	着順	2000m
大阪大学「淀」	2	7' 10" 98
同志社大学	4	7' 23" 34
京都大学 「晴嵐」	3	7' 13" 21

関西学院大額

1 7' 04" 98

2005年度現役会計報告

(平成16年度11月1日～平成17年度10月31日)

収入の部

単位：円

摘要	17年度収入(予算)	17年度収入(決算)	予算比較	18年度収入(予算)
前期継越金	¥1,396,072	¥1,396,072		¥1,097,306
現役負担金	¥6,170,000	¥6,500,800	¥330,800	¥7,000,000
寄付金	¥2,200,000	¥2,000,000	¥-200,000	¥2,000,000
学校からの寄付金	¥1,200,000	¥1,096,000	¥-104,000	¥1,000,000
受取利息		¥6	¥6	
特別収入		¥116,000	¥116,000	¥150,000
合計	¥10,966,072	¥11,108,878	¥142,806	¥11,247,306

現役負担金は、男子漕手は月3万円、女子漕手は、月1万5千円（新入生は、8月まで1万2千円）の部費とクラブバイト代（卒業式バイト+カイツブリ補助+アルバイト）92万5千800円との合計です。

その他は、以上の通りです。

支出の部

摘要	17年度支出(予算)	17年度支出(決算)	予算比較	18年度支出(予算)
合宿費	¥5,600,000	¥5,534,596	¥-65,404	¥6,000,000
試合費	¥3,000,000	¥3,324,356	¥324,356	¥3,350,000
用具購入費	¥280,000	¥233,256	¥-46,744	¥250,000
分担金支出	¥260,000	¥72,000	¥-188,000	¥75,000
記念費(新項目)		¥471,754	¥471,754	¥500,000
連盟費(新項目)		¥184,200	¥184,200	¥150,000
什器備品費		¥41,500	¥41,500	¥40,000
特別支出(新項目)		¥149,910	¥149,910	¥150,000
次期継越金	¥1,826,072	¥1,097,306	¥-728,766	¥732,306
合計	¥10,966,072	¥11,108,878	¥142,806	¥11,247,306

合宿費には、生活にかかる全てのお金の他に、消耗品費、資料費、手数料、事務費、涉外費が含まれ、用具購入費には、練習費が含まれます。

今年度も会費集めに努力してきたいと思います。ご指導、ご協力よろしくお願ひいたします。

担当 角谷、市川

## OB 特集

OBの方々にご協力いただき、2度目のOB特集を組むことができました。この特集は、力漕第9号から始まり4年に一回のペースで企画していく予定であります。今回ご協力頂いた方々、誠にありがとうございました。

### 「青鬼会の青春」

昭和31年卒業 岩波 春喜

小生が現役だったのは、昭和30年前後で、艇庫は唐橋と東海道線の鉄橋の中間瀬田サイドにあった。

雨漏りのする木造のボロ艇庫だったが皆愛着を持っていた。瀬田川も波打ち際のある川そのものの姿の時代だった。

合宿所は、民家を借りていた。安土さん、近持さん、それぞれ大変お世話になった。汗臭い大男がガサガサと、今思うとよくもお世話頂いたものだと感謝している。その頃は住所も大津市ではなく、滋賀県栗太郡瀬田町だった。もう50年も昔の話である。

監督は高橋宗先輩で、怒ると赤くなるので「赤鬼」、コーチが太田豊彦先輩で青くなるので「青鬼」と陰で呼んでいた。さながら合宿所は鬼ヶ島と言ったところ。卒業してから綽名は表に出て、太田先輩に面倒を見てもらった昭和30年から35年のOBで、太田先輩を会長に「青鬼会」と言う懇親会を作り、年に一度集まつては昔話に花を咲かせている。数限りない抱腹絶倒の青春合宿物語りは書き切れない。将に青春そのものの生活だった。古稀を過ぎた青鬼会メンバーも集まれば、気持ちは青春そのものだ。

当時、瀬田川に掛る橋は、唐橋と、東海道線の鉄橋の二つだけ、夜汽車が鉄橋を渡る景色に遠く故里を思つたりしたものだ。レースは鉄橋をスタートに、石山の手前まで2000米（その先に、杉本君の抑屋があった）螢谷の1600のカーブの切り方が、コックスの腕の見せどころだった。

思い出のレースは、日本に初めてやって来た外国のエイトクルー、英国ケンブリッジ大学との対戦が印象に残る。昭和29年秋の事だ。想像出来ないだろうが、人がこぼれそうな遊覧船が沢山川に浮かび、沿岸は人の波の中でのレースだった。

その頃、映画「サラリーマン物語」のシリーズ物がヒットしていた。森繁久弥、小林桂樹、三木のり平等が出演していた。その挿入歌の替え歌を小生が作詩して、皆で良く歌つた。

### 「僕は同志社のポートマン」

作詩 岩波 春喜  
作曲 三木 鶏郎

- |   |  |
|---|--|
| 一 瀬田の唐橋 朝夕通う<br>来る日来る日も繰りかえす<br>つらい練習さばれる訳は<br>瀬田のあの娘の片えくぼ<br>※ オー！！<br>僕はポートマン<br>同志社のホープだよ<br>とかなんとかおだてられて<br>終いにや落第よ<br>(※印以下二、三、四番くり返し) | 二 春の石山 桜が咲いて<br>岸にたたずむ可愛い娘<br>ついふらふらとウインクすれば<br>あッと言う間に腹切りよ<br><br>三 朝は瀬田川 夕べは琵琶湖<br>夏の合宿 四十五日<br>ロングにパドルにそれ力漕だ<br>艇の中では 豆しばり<br><br>四 ダークにライトのブルーのオール<br>三ツのクローバも粋なもの<br>何う鉢巻きちょいと締め直しや<br>色は黒ても好男子 |
|---|--|

少々自慢げでおこがましいが、と言うものだ。小生が卒業してからも何年かは歌われたようなので、思い出して現役時代を懐かしんで頂けるOBもおられるのではないかと思う。青鬼会も会合の最後はこの歌でシメている。

「青鬼会」と言えば、新築になった艇庫に何か役に立てばと、掛け時計を贈った。二階のミーティングルームに掛けて使われていると聞いた。役立てば幸甚だ。

小生、戸田での全日本、全日本大学生等のレースの予選初日には足を運ぶ様にしている。これからも元気なら通うつもりだ。出来ることなら、現役の勝つレースを見たい、そして応援したい。ご健闘を祈る。

少々長々と書きすぎたか？琵琶湖開航の事。小津安映画「早春」出演の事。いろいろあるが次の機会に。このへんで。

ひたすら「ありがとう」  
昭和 40 年卒業 石本 君夫

力漕 13 号発行にあたり、関係者のご努力に感謝します。創部 115 年を迎える、同志社ローライングが益々発展し隆盛を極めることをひたすら願っております。

卒業して 40 年以上も経つのに、又その間も何らかのかたちでボート部に関わっていましたが、ボートの魅力に未だ浸って、果てしない夢を追い続けている自分がおかしくて、思わず苦笑しております。あの炎天下、オールを揃えてひたすら練習に明け暮れた日々を当時は苦しい毎日であったのに、今では楽しい事しか思い出せません。

ボートの魅力は沢山有りますが、私は何と言っても、自然との対話、琵琶湖のすばらしさ、そしてレースでは正々堂々、自分のレーンをただひたすら漕いで、勝者と敗者がはっきりと分かるいさぎよさ。何の仕掛けも意外性もない。レース中は敵も味方も同じように苦しみ、そして耐えてひたすらゴールをめざして・・・。

社会人となつても学生時代にどこかでボートを漕いでいたと聞くだけで、何と珍しい奴と思いながら、親しみと敬意を感じるのは、他のスポーツ以上ではないかと思います。ましてや同志社の先輩後輩なら、なおさら慕わしい気持ちで一杯になります。

私は同じ釜の飯を食べたすばらしい仲間と沢山出会うことが出来ました。特に同じ学年の池田、稲垣、丸山、そして広田、諸兄等々には卒業してからも私を支え、励まし、時として叱咤激励してくれました。本年度で退任されましたが、これからも同じようにボート部を支え続けてくれることでしょう。他にも数え切れないすばらしい仲間に出会うことが出来ました。驚異的なパワーで部の勝利に尽力した人々、そして漕手を支えて、粉骨碎身の努力で部の維持発展に貢献してくれた人、皆ひたすら自分のゴールを目指して頑張って来ました。

これからも沢山の後輩が同じように、ひたすらボート部を支えてくれることを信じます。ありがとう同志社ローライング。そして 200 年に向かって輝き続けることを祈ります。

「創部 115 年に向けての現役・艇友会強化希望案」  
昭和 58 年卒業 高山 一也

私事で恐縮だが 1988 年から自転車ロードレースを趣味としている。自分の自転車レース参戦経験と、ここ数年の戸田でのレース観戦しての比較をして話をして行きたい。

①MBO (Management By Objects) :目標による管理の導入。

最初に [目的] と [目標] に関し説明する。[目的] とは大学なら建学の精神、会社で言えば社是や経営理念の事で [目標] とは [目的] を達成する為の短期・中期・長期のゴールだ。[目標] は数値化され達成が可能であり且つ挑戦的であらねばならない。[目標] の設定は上位と下位が互いに納得しなければならない (ビジネス用語で申し訳ありません)。

私の場合 [目的] は体力と競争心の維持と言える。[目標] は先頭集団ゴールである。年初に参戦するレースを幾つか選びメインのレースを年間最終目標として決め途中のレースは中間目標とする (残念ながら 21 世紀以降は未達成である)。

次に [目標] を達成する為の手段・過程が練習計画である。私の場合は春先は有酸素運動が中心で、LSD (Long Slow Distance) を行ない、5 月中旬には 120km 走るレース以外の大会に参加する。レース数週間前は走るコースに合わせインターバルを取り入れる。この様に自分で参戦計画を立て練習メニューを決め実行していく。

さて現役諸君はどうか。[目的] は艇友会で決定するとしておこう。三回生は一年後 (短期) の、二回生は二年後 (中期) の、一回生は三年後の (長期) の数値目標 (タイムやエルゴ数値) を立ててみよう (Plan)。次に目標を達成する為の行動計画を作成する。参戦 (希望) する試合や順位・タイム等である。そして実行 (Do) し、定期的に検証 (See) し、目標と実績の差を把握し修正 (Action) を加える。

②心拍トレーニング等の導入

自分の話に戻ると、今の自転車スピード・メーターは速度だけでなくペダルの回転数も表示する。速度・距離は天候・道路状況に影響を受けるので時間と強度が基準となる為に心拍トレーニングが一般的になっており、自分も 17 年間行なっている。

上位機種はデータを PC に落として分析も出来、電波で飛ばす事も出来る。更にプロやアマチュア上級者はペダル負荷 (Watt 数) も計測している。Rowlock で負荷を計る事が可能なら練習効率も上がるを考える。(理系 OB の方へ、測定方法の考案を宜しく御願いします)。極論を言えば全員が同じ体格で同じワークで同じ負荷の運動を行い、同じ心拍数で有れば最も効率良く艇が進むと考える。現在スイープが中心だが若年人口減少や高校総体の種目を考えると、スカル強化も念頭に入れるべきと考える (スカルコーチは外部より招聘する事も考慮)。

### ③新入部員獲得

自転車に戻ると競輪学校ではエルゴ・メーターの数値で合否が決まる（高校で実績の有る適正組は別）。今の同志社のセレクションの選定基準は知らないが高校での戦績が良くなくても、エルゴの数値が高ければ受験機会を与える事も一つの強化案と考える。

### ④艇友会

最後は艇友会だ。組織論は別とし、ここ何年かの戸田での感想を述べる。卒業して20年以上も経つと現役部員どころか監督やコーチも分からぬし、折角レース観戦に来ても誰も知った顔が無く寂しい思いをする事があった。私事を言えば、馴染みの金沢の自転車屋がチームジャージを作成しており私も持っている。レース会場で会えば御互い面識は無くとも挨拶もするし、旧知と再開も容易だ。ポロシャツや帽子を作成販売すれば収入にもなり一石二鳥だと考える。出来れば、テントや上りも立ててレース会場での存在を訴求して欲しいと考える。以上。

---

平成14年卒業 菅野 浩平

現役の皆さま、日々の練習、お疲れさまです。悔いのないよう精一杯努力して、栄光を掴みとってください。期待しております。

早いもので、私も社会人四回生。会社では、日々、お客様と上司にしばき倒されながらも、まあ、大過なく過ごしております。久しくお会いしていない同期の皆さま、機会あれば、昔話に花を咲かせて、一杯やりましょう！

---

### 「同志社大学」

平成13年卒業 吉田 亮

平成17年卒業 居村 綾子

平成18年卒業 沼守 勝子

同じ4年を送るなら、他の送り方もあったろうに。

早朝の近江は穏やかで、まるで時間が止まっているかのような錯覚さえ覚える。毎日そんな朝を迎えていたな。とりわけ冬の近江は寒かった。鼻水が止まらない。

湖面の凧は、我々によって壊される。

艇を浮かべ、水面にブレードを入れば、鏡のような静水は弾け、止まった時間が動き始める。もう春は来ないのでと錯覚させる冬の寒さを搔き消すように、Rowerたち

の一漕が、ことごとく静水を壊し、確実に時間を動かす。Coxはそんな一瞬を見つめながら、やがて来る春をじっと待っていた。

### 移りゆく近江の四季。

同じ4年を過ごすなら、学問に没頭してもいい。京の寺社仏閣を見るのもいい。バイトをして海外旅行に行くのもいい。しかし、結果的に私が思い出す学生時代の青春は、そんな移りゆく近江の四季かもしれない。

吉田 亮

志。

社会に出て本当に気がついた、仲間の存在。

「過去を振り返って仕方がない。今をどう楽しむか、どう悩むか。」友人は言う。とは言え、毎日忙しく振り返る余裕がないのが、社会人一年目の現状。だから、「ああ。。。あの頃は楽しかったなあ」なんて考えることはないけれど、あの時出会った仲間達は一生大切にしたいと思う。なぜ・・・。

納得が出来ないなら先輩も後輩も関係ない。悔しいなら直向きに練習するだけ。自分達で考え、悩み、失敗もして成功もする。笑いたい時は思いっきり笑うし、泣きたい時はとことん泣く。こんな事が出来る場所って簡単には見つからない。誰もが上に向かって歩き続けることって本当に難しい。頑張るのは当たり前のことだったし、それは今も同じこと。けれど、隣に皆がいるというのは心強かった。瀬田川で逆光を浴びた艇にCOXの響く声、それだけでまた力が湧いてきていた。同じ4年を過ごすなら・・・もっと遊んで過ごす？いや、私はまた皆の姿に一目惚れしてしまうだろう。また一緒に泣き、そして笑いたいと心弾ませるのだろう。

居村 綾子

大学の思い出は、“ボート”一色であったように思う。4年間何をしてきたか、と考えたが、ボート部のことしか思い浮かばない。ボート部のことを考えると、なぜか、とてつもなく懐かしく切なくて胸が痛む。

もう一度、瀬田へ帰る日があれば、心の拠り所となっているすべての思い出に感謝したい。

沼守 勝子

## 他大学寄稿

### 大阪大学漕艇部

この度は部報「力漕」の発行、誠におめでとうございます。

同志社大学には昨年度、関西選手権のエイトにおいて予選、敗復ともに敗れ、我が部としては非常に悔しい思いをしました。貴部におかれましても、十分に満足のいく結果ではなかつたと思われます。

今シーズン、大阪大学は目標である「関西選手権優勝、インカレ最終日」の実現に向けて日々、高い意識のもと練習に励んでおります。冬場にガッチャリと固めてきた基礎体力・基礎技術を春からの試合シーズンで發揮してやろうとチーム一丸となって頑張っております。貴部も目標達成にむけ日々厳しい練習に取り組んでおられることでしょう。

また朝日レガッタ、関西選手権で貴部と激戦を繰り広げ、戸田でお互い満足のいく結果を残せるようお互に頑張りましょう。

主将 田中資人

### 岡山大学漕艇部

部報「力漕」第13号のご発行をお慶びいたしましてメッセージを送らせていただきます。

昨シーズンは朝日レガッタや関西選手権、全日本大学選手権などのレースでお会いする機会がありました。特に関西選手権では貴部とエイトで戦わしていただき、我々もいい経験となりました。

今シーズンも様々なレースで顔をあわせることになると思いますが、戦いを通じてお互いを高め合っていけるように我々も全力を尽くします。

貴部のますますのご発展を心よりお祈り申し上げております。

主将 掛野寛喜

### 関西大学漕艇部

この度は部報「力漕」のご発行おめでとうございます。貴部と我が関西大学体育会漕艇部は、それぞれ瀬田川と神崎川にて試合に向けて日々練習しているのは言うまでもありません。

第58回朝日レガッタでは、両大学とも準決勝で敗退し、平成17年度関西選手権では両大学とも決勝進出を果たし、我が関西大学は両大学とも決勝進出を果たし、貴大学は男子8+、惜しくも貴大学に3秒差で4位になり、戸田に行くことを断念し、代が変わり日々練習を重ねています。

川は違えど、同じ関西でまたライバルとして、互いに競い合って頑張りましょう。最後に原稿の依頼をいただきありがとうございました。

主務 北川貴大

### 京都大学ボート部

この度は部誌「力漕」の発刊、誠におめでとうございます。

瀬田川にはボートがひしめき合い、お互いに切磋琢磨する毎日でございます。特に同じ試合に出る他校の艇は気になるもので、それ違う時などに余計に気合いが入ってしまうのはオアズマンの性でしょうか。

昨年度を振り返ってみると、インカレで立命館大学の4×優勝をはじめとして、滋賀大学経済学部の2-1準優勝など瀬田勢が躍進した年でありました。

我々の方向性が正しいことが分かった今、我々瀬田勢が全国の舞台で活躍するため最も必要なのは、自分達のやっていることをとことん信じて日々の練習に励むことだと感じております。自分達の方向性を信じ、インカレ優勝を信じることこそが我々を全国の舞台での決勝へと押し上げる力となるでしょう。

これからも瀬田川から全日本の頂点を目指す有志として、日々練習に勉め励み、関西ボート界を共に盛り上げていきましょう。

主将 井上亮

## 近畿大学ボート部

昨年も寄稿させていただき今年は何について書こうかと思い、今年は近畿大学三回生の木下和哉について書きたいと思います。

今年の4月25日に兵庫県尼崎市の福知山線脱線事故で僕たち近畿大学ボート部は大切な仲間、木下和哉を失いました。事故があった日から木下とは連絡が一切取れず木下が亡くなったのを知ったのは、朝日レガッタの三日前でした。木下はそのとき対校フォアに乗っており、対校フォアは朝日レガッタを棄権するしかありませんでした。朝日レガッタには対校フォア以外に僕がシングルスカル、女子のダブルスカルが二艇エントリーしていました。正直あの時は試合に出たくなく棄権しようと思っていた。しかし全員でミーティングし、木下のためを思うなら試合に出るのが一番だという結論になり試合に出ることを決めました。

木下がなくなりもう半年が経ちましたが、未だにあいつがなくなったことが信じられません。多分部員のほとんどがそう思っていると思います。選手を続けられるのもあと一年を切りました。この限られた時間を大切にし、木下をあつといわせられるような結果を報告できるように部員一丸となって頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、同志社大学ボート部のさらなる発展と活躍をお祈り申し上げます。

主務 東條和也

## 神戸大学漕艇部

この度部報「力漕」への寄稿願い頂ありがとうございます。

さて、あつという間に今シーズンも終わり、月日が経つのは早いものだと改めて実感しております。インカレでは対校エイトが最終日進出という目標を果たすことができず、また他のクルーも不本意な結果に終わってしまいました。現在はまた来シーズンの目標に向けて新たな気持ちで練習に励み、いかに艇を速くするかを日々模索している最中です。

練習する場所こそ違いますがお互いに交流を深め、関西のボート界をさらに盛り上げ、戸田においても関西の大学の艇が活躍できるよう、日々切磋琢磨していきましょう。これからもよろしくお願いします。

主将 泉雄介

## 滋賀大学経済学部漕艇部

この度は部報「力漕」の発刊、誠におめでとうございます。また、寄稿文のご依頼をいただきありがとうございました。

同志社大学は同じ瀬田川で漕ぐ大学として良きライバルだと思っております。春は朝日レガッタに始まり、全日本選手権、インカレと数々の場面で対戦してきました。今後も互いに切磋琢磨していきたいと願う所存です。

我が滋賀大学経済学部は、インカレにてペア準優勝、フォア7位入賞という好成績を収めることができ、全国の強豪校とも互角に戦えるようになりました。この結果に甘んじることなく、更なる上を目指していきます。ぜひ、瀬田川で並べるなどして交流の機会を増やし、共に関西勢をひっぱっていくつもりで頑張っていきましょう。

貴部の今後ますますの発展を心よりお祈りしております。

主将 清水武尊

## 滋賀大学教育学部漕艇部

この度は部報「力漕」の発行、誠におめでとうございます。

私たち滋賀大教育学部は貴部と同じく瀬田川を練習の場として練習に励んでおりますが、日々激しい練習に取り組まれております貴部の練習風景えお瀬田川などで見ますと、我々ももっと頑張らねばという気持ちになります。私たちの部は部員数も少なく、まだまだ試合での結果もあまり残せていませんが、一つ一つの練習を大切にして少しでも貴部に近づけるように精一杯練習に励んでいこうと思っています。

最後になりましたが、今後の貴部び益々の発展とご活躍を心から願っております。

副将 市岡真吾

## 名古屋大学漕艇部

この度は部報「力漕」の発行、誠におめでとうございます。並びに、寄稿のご依頼の機会を頂き、心より感謝しております。貴部とは関西選手権、全日本選手権、軽量級、全日本大学選手権、全日本新人などにおいて競い合う仲であり、さらに交流を深め、互いに切磋琢磨していきたい所存であります。

さて、昨年度、名古屋大学におきましては、関西選手権男子舵手つきフォア優勝など、まずまずの成績をおさめることができました。しかし、肝心のインカレ・エイトにおきましては、敗者復活戦敗退と苦杯をなめさせられました。エイトの最終日への壁を改めて認識させられました。また、対校以外のクルーの競い合い、高めあい、マネージャーとの連携が重要なことを改めて確認しました。今年は一年を見越して、一日一日の、一本一本の練習を全力で、部員一同一丸となり、漕いでいき、最終日を目指します。日ごろ漕ぐ場所は違いますが、共に来年は戸田で活躍し、地方勢の力を見せ付けましょう。共に、「東高」の状態を打破しましょう。

主将 田中良

## 法政大学体育会漕艇部

こんにちは。新しく主務になりました3年箕島です。私たち法政大学は男子13名、女子5名、マネージャー10名、計28名で楽しくやっています。普段の生活は、朝モーション→学校→午後モーションの繰り返しで忙しい毎日ですが、とても充実しています。練習後の楽しみはなんといってもマネージャーが作ってくれた料理です！！

ある日の料理の一例を紹介します。スペアリブ、エビチリ、オニオングラタンステップ、シーフードマリネです☆

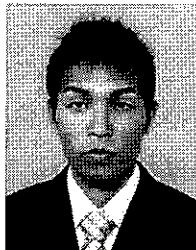
マネージャーが作ってくれた料理を食べてしっかりパワーをつけ、来シーズンも頑張っていきたいと思います！

主務 箕島愛

寄稿にご協力いただきました各大学の皆様には、厚く御礼申し上げます。今後も交流を深めてまいりたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

## 卒業生の言葉

前主将 山崎 翔吾



商学部 商学科  
宇和島東高校（愛媛）  
大成建設株式会社

高校の卒業式を終え、瀬田川にやってきたときのことがまだ最近のことのように感じます。高校では、インターハイ、国体で優勝を経験し、それなりの肩書きと使命を負って伝統のある同志社大学ボート部の門をたたきました。しかし、今振り返ってみると全日では順位をつけるぐらいの成績しか残せず、新人でやっとメダルがとれるぐらいでした。成績だけをみれば私が入部以来年々弱くなり、諸先輩方には本当に恥ずかしい、寂しいといった思いをさせてしまったと思います。自分自身、ボートが嫌になるときもあり決して楽な4年間ではありませんでしたが、本当に楽しく、良い経験ができた4年間だったと思います。

4年間はあっという間に過ぎていきましたが、最後に主将を務めた1年間はそれまでの3年とは違いとても長く意味のある1年でした。まず主将になり、現状を分析し勝つためにはどういう取り組みをして、どういうメニューが必要か考えました。これは主将になれば誰もが考えることだと思います。それともう1つ私がやりたかったことは、「土台作り」です。入部以来、想像もしなかったオンリーワンという状況。。。初めは1人でも突っ走ってやると思っていたが、やはり部員不足、部内の競争がなくなるといった悪循環が年々あからさまになっていました。だから、そのような状況を脱しもう1度立て直すには土台作りをしっかりとしなければいけないと思い、その時々でどういう判断をすれば先にも繋がっていくか考え日々奮闘したつもりです。みんなにローリングノートを作らせたのもそのためです。（今書いている後輩が何人いるかわかりませんが。。。）その中でコーチの高橋毅さん（以下毅さん）の協力で、元日本代表である三本和明さんのお話を合宿所で聞ける機会をいただいたことや、練習をみてもらったこと、また冬に宇和島のランクアップ（ジム）でウエイト合宿ができたことは本当に意味のあるものであったと思います。相談できる同期がいなかったので、毅さんには何かと頼ってばかりでしたが、お忙しい中しっかりサポートしていただき本当に感謝の気持ちでいっぱいです。毅さんがいなければここまでやれていなかっただと思います。引退した今は、直原先輩や今東先輩のように強くておもしろいカリスマ性のある主将にはなれませんでしたが、自分のやりたいことはすべてやったつもりな

のでとても満足、充実しています。そして、やりたかったことがどれだけ伝わったかわかりませんが、私のワンマンにも関わらずついてきてくれた後輩達にはとても感謝しています。またこの4年間同志社大学ボート部でやってこれたのも日片監督をはじめ先輩、後輩や家族、友達の支えがあったからだと思います。本当にありがとうございました。

まだまだ書きたいことはたくさんあるのですがかなり長くなりそうなので最後に後輩達にエールを送って終わりたいと思います。まず宮内は主将をするにあたって広い視野と柔軟な吸収力をもてるようにならなければ。高奇も同じかな、がんばれ。角谷は非常にまじめでいいんだけどしっかり内容のある練習をすることかな、裏方も大変だろうけどがんばれ。周作はしっかりうまい飯作れよ。もっちーはずっとシングルでメンタル的にきついと思うけど練習も工夫しながらインカレVに向けてがんばれ。末廣は体力的には言うことなし、あとは勝てるリズムと大きさを探求することかな、絶対お前ならできるからがんばれ。一平はその末廣に負けないようについていくこと、無理だと思うな、がんばれ。可児ちゃんは本当にいいメンタル持ってるから無理しすぎずがんばれ。涼太は誰よりも艇が理解できるようにならなければ。勇人とルイスは良いセンスしてるからもっと根本的な体力、精神面をがんばって鍛えること。今洵もだな、がんばれ。篠は宮内、末廣とこの部をひっぱれるようにもっと自信もってがんばれ。あと1回生はがんばっている先輩をみてしっかりと目的意識をもってやることかな。マネさんは漕手に遠慮せずポジティブにがんばってください。来年からのみんなの活躍を期待します。

前主務 高橋 亜希



文学部 社会学科 新聞学専攻  
同志社女子高校（京都）  
進学

「人間ここまで堕落するものか・・・。」ボート部を引退してから、しばらくの間は廃人のようでした。現役時代、憧れていた自由な生活を手にしても、どうも楽しくありません。バイトして、適当に遊んで、たまに学校行ったり、行かなかつたりと、そんな廃人生活を送っていた私の元に、ある日、全日本新人でメダルをゲットしたという嬉しいニュースが届きました。振り返れば、引退するまでの一年間、今まで以上に、家族同然のようなみんなの真っ直ぐでひたむきな姿を目の当たりにしてきました。朝早くに起きて練習をこなし、それから学校に行き（ま、行っても寝るだけ）。挙句に果てには学校に行かなかつたりですが。）また戻ってきて練習。勝つために必死なみんなの真面目な姿、体力的にも精神的にも苦しい状況でもめげずに頑張る姿、どんな過酷な状況におかれても、練習が終わると、底抜けに明るく、愉快なみんなが大好きでした。たった何分間かで勝敗が決まってしまうボート競技のために、ものすごい時間をかけて練習するみんなの努力が実るようにという思いでいっぱいでした。そんなこともあります、その時は自分のことのように喜びました。嬉しかったです。勝つために、目標を達成するために、様々な苦労や悩み、葛藤があったに違いありません。それらを乗り越え、結果を出せたときの達成感や嬉しさは何物にも変えがたいものです。そんな素晴らしい経験をした後輩達を羨ましく、かっこよく思いました。光り輝く後輩達への羨ましさがエネルギーとなり、私も後輩達に負けないように頑張らないと！！と気持ちを改めることができ、廃人生活から脱却することができました。

主務という立場上、OBの方々と接する機会が非常に多く、自分の無能さと単純さからよく怒られました。口癖が『すいません』の平謝りの毎日でした。自分の軟弱さに鉄槌を下していただき、まだまだではありますが成長することができました。また送別会の時にかけていただいた温かいお言葉は忘れることができません。ありがとうございました。

こうして力漕の原稿を書いていると、一緒に過ごしたボート部の仲間はもちろんのこと、OBの方々以外にも私にはまだまだたくさん感謝しなければならない大切な人がいることに気づかされます。家族、なんでも聞いてくれて最終的に笑いにもつてくれる底抜けに明るい友達、ライバルにもかかわらず仲良くしてくれた他大学ボート部、何かとお世話になった人etc・・・。私とつながっているすべての人たちに感謝

します。言葉では言い尽くせません。本当にありがとうございました。

最後になりましたが、これから同志社大学ボート部の時代を築くみんなを心から応援しています！！頑張れ！同志社大学ボート部！！

前艇友会 沼守 康子



同志社女子大学  
現代社会学部 社会システム学科  
泉陽高校（大阪）  
オリックス自動車株式会社

OBの皆様をはじめ、監督、コーチ、そして先輩の方々、大変お世話になり本当にありがとうございました。私が、艇友会としての役割をいただいたのは二回生でした。OBの方々には、幾度となくご無理をお願いして会社やご自宅に訪問させていただき、たくさんのお話を伺わせていただきました。どの方々からも、同志社大学ボート部のことを温かく見守ってくださりながら、情熱を込めたお言葉をいただき、いつも胸が熱くなりました。皆様の熱き想いを知ることができたのは、お忙しいなか時間を割いていただき、直接お話を伺うことができたからだと思います。お一人お一人の貴重なお話には、現役時代を通じ、長年にわたるボート部への愛情があるからだと感じることができました。さらに、皆様との出会いの原点が、向かい合ってお話を伺うことだと、身をもって知ることができました。これは、艇友会の仕事をさせていただいたからこそ、学ぶことができたのだと思います。他では得られない貴重な経験をさせていただき、感謝すると同時に、艇友会という仕事がボート部の中においていかに大切であるかと再認識させられました。ボート部でのすべての経験は、私の貴重な財産となり、本当に幸せです。また、監督、コーチ、先輩の方々が励ましてくださり、アドバイスをしてくださったおかげで今日を迎えることができました。ありがとうございました。そして、同期の二人と一緒に引退できたことは、何よりもうれしいです。山崎くん、あつきーと過ごした時間は、大切な思い出です。今後、社会に出ても、出会うことができたすべての方々の情熱を胸に、頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、現役の皆さん、今までありがとうございました。皆さんの優しさ、温かさは忘れません。楽しい時も苦しい時も、ともに過ごせる時間を大切にし、頑張ってください。ボート部のさらなるご活躍を心よりお祈り申し上げます。



## 株式会社 王子製作所

船舶用機器・建設機械部品  
並びに各種製缶加工・一般建築鉄骨施工

本社 兵庫県加古郡播磨町新島23番地  
電話 加古川 (0794) 37-1600(代)  
FAX (0794) 35-6181

丸亀工場 香川県丸亀市垂水町2747番地  
電話 丸亀 (0877) 28-7004  
FAX (0877) 28-5162

最高金賞のビールで  
最高の週末を。

サントリービール  
ザ・プレミアム・モルツ



飲酒は20歳を過ぎてから。お酒はなによりも適量です。  
あき缶はリサイクル。

<http://suntory.jp/PREMIUM/> 製造・販売 サントリー株式会社 水と生きる SUNTORY



■近くて便利な■  
**南部自動車学校**  
**0596-23-1155(代)**

**オートザム伊勢**  
〒519-0503 三重県度会郡小俣町元町1648-10  
AUTOZAM TEL:0596-27-3236 FAX:0596-27-3706

**大東自動車株式会社**

鉄鋼・建材・各種ルーフ・ウォール・成型加工

**松井金属工業株式会社**

【本社】 〒600-8060 京都市下京区高辻通柳馬場東入雁金町162  
TEL 075-361-9341

【守山営業所】 〒524-0021 滋賀県守山市吉身四丁目3-19  
TEL 0775-82-3611

【舞鶴営業所】 〒625-0000 京都府舞鶴市宇上福井84  
TEL 0773-76-2281

【久御山営業所】 〒613-0000 京都府久世郡久御山町大字田井小字新荒見181  
TEL 0774-44-7131

丹後ちりめん

京阪シルクは京都でちりめんを主とした和装小物・袋物用素材卸会社です。

京阪シルク株式会社  
京都市下京区五条西洞院東入  
電話 075-351-2340 FAX 075-351-4352

TSU デザイナー達が創る家…  
**hobby Style.**  
住まいと暮らしにあなただけのスタイルを

せっかく家をつくるなら、心からリラックスできて、自分たちに合った居心地のいい空間にしたいもの。ホビースペースの家は、住まう人のスタイルや趣味を満たしてくれる“自分をとりもどす空間”づくりをテーマにデザインされています。あなたの大切な趣味や時間までもインテリアにしてしまう、夢と遊び心のある家です。

hobby Space International  
●本社：東京都新宿区西新宿3丁目8番4号新宿本町ビル  
TEL:03-5935-4955 FAX:03-5935-4956  
第一種建設土木業者登録証明書登録番号A2618M(1410) ニッカフモト建築設計事務所  
第二種建築物設計事務所登録番号(第14)第30117号  
運営元人日本住宅木村吉典センター 木造住宅省エネルギー化システム認定(認定番号154-16)  
S55卒 代表取締役 小岡隆一

中村印刷株式会社  
親和紙器株式会社

代表取締役社長 明石逸二

本 社 〒743-0011 山口県光市光井1丁目15-20  
TEL 0833-71-0020  
FAX 0833-71-0142

東京営業所 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3丁目3-5  
三井常盤橋ビル8F 山口県東京ビジネスセンター内  
TEL 03-3245-0003  
FAX 03-3516-8933

(パンフレット、シール、ビジネスフォーム、チラシ、冊子物、印刷物全般)

ずっと支える。  
もっと役立つ。  
NISSAY  
日本生命保険相互会社

スカイセレクト  
生きるチカラ SKY SELECT

日本生命保険相互会社

理科機器 SCIENCE  
体力科学機器 PHYSICAL SCIENCE  
産業科学機器 INDUSTRIAL SCIENCE

八神国際貿易株式会社 〒466-8502 名古屋市中村区の内2-10-29  
TEL:052-952-3211/FAX:052-971-1338  
YAGAMI INTERNATIONAL TRADING CO.,LTD.  
HEAD OFFICE: NO.2-29, 3-CHOME, MARUNOUCHI, NAKA-KU, NAGOYA 460, JAPAN  
TEL:(052)952-3811/FAX:(052)971-1398 / E-mail:yagami@intoma.ne.jp

船あそび 勢多遊膳

猿石料理  
しゃぶしゃぶ  
鍋 物  
一品料理

**あそ定**

掘りごたつ カウンター 炉 裏



# 旅亭 臨湖庵

大津市瀬田2丁目13-26  
TEL 077-545-4128  
FAX 077-543-2226



**FamilyMart**

瀬田四丁目店 077-544-5177  
滋賀県大津市瀬田4-266-1

FOOD SHOP

# WACO

和晃商事株式会社  
神領店／滋賀県大津市神領3丁目8-5  
TEL. (077) 545-2051  
FAX. (077) 545-2087

カフェ  
レストラン **アドリア**

湖岸道路唐橋下ル  
TEL (077) 537-1439

“良い品と一緒に送ろう真心を”  
クッキング・テボ **タイヘイ株式会社**  
京滋・北陸地区 滋賀営業所  
〒520-3024 滋賀県栗東市小柿7丁目8-27  
077(553)7440

## 霞

メニュー豊富・お持ち帰りOK  
Tel 077(543)8685

証明写真・¥1000

## コマイ写真館

石山・京都信用金庫前  
(松原バス停前)  
TEL(FAX) 537-3122



日本酒とビール・ウイスキーの店  
**北井酒店**  
瀬田商店街  
0120-45-2113  
FAX 43-0220

**BISTRO FUJIHARA**  
滋賀県大津市栄町3-2-2 F  
077-537-5655

## FRESCO 石山店

大津市栄町2-5  
TEL(077)531-4591

## 寺万商店

大津市瀬田2-2-3  
(077)545-0006

## フードショップ アップル

滋賀県大津市瀬田1-3-2

財団法人  
**滋賀県青年会館**

## 薬膳館 中國茶房 喫茶去

〒520-0853 滋賀県大津市螢谷4-45  
TEL. 077(537)2598 FAX. 077(533)5766  
<http://www.yakuzenkan.com>

## 石山温泉・料理旅館 松乃荘

大津市螢谷3-31  
TEL (077)537-0069  
FAX (077)537-1027

## 編集後記

この度、部報「力漕」第13号を発行することができました。今回は、OB特集第2弾ということで、うまくいくかどうか不安もありましたが、皆さんが快く引き受けてくださったお陰で無事、特集を組むことができました。OBの方々の寄稿を読ませていただくと、私たち現役をいつも応援してくださっているということを改めて実感すると同時に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。115年の伝統と同志社大学ボート部を愛する、すべての方の想いを背に、熱い熱い2006年度シーズンにしていきたいと思います。

最後になりましたが、広告掲載にご協力いただいた地元企業の皆様、諸先輩方、他大学の皆様、岡本部長、目片監督、高橋コーチに心より御礼申し上げます。今後とも同志社大学ボート部にご指導、ご声援の程よろしくお願ひ申し上げます。

同志社大学ボート部 広報担当 吉田美香  
京田枝里子  
中野絵理

---

同志社大学ボート部 部報「力漕」

2006年3月発行

発行者 同志社大学ボート部

〒520-2134 滋賀県大津市瀬田3丁目2-30

TEL 077-545-0702

Fax 077-543-1194

e-mail address :dubc@skyblue.ocn.ne.jp

---

広告掲載料振込先 滋賀銀行瀬田支店 普通預金

口座番号 474219

同志社大学ボート部

代表 吉田美香

